
第 33 回 国家試験問題

解 説 書

DHS 歯科衛生士部

目次

解説（午前問題）・・・ 1

解説（午後問題）・・・ 22

解説の見方：(1) 問題分類 午前問題 問題1～110
午後問題 問題1～110

(2) 選択肢考察 答えと各選択肢の正誤が明確になるように、○×で示した。

歯科衛生士

第33回国家試験問題

解説書

歯科衛生士 第33回国家試験 問題&解説書 定価 1,540円(税込)

2024年6月10日 第1刷発行

発行

DHS 歯科衛生士部

〒001-0011 札幌市北区北11条西4丁目2-25 ヘルエアプラザ3F

TEL. 011 (708) 7588 (代表) 無料通話 0120 (594) 509

本書の内容を無断で複写・複製・転載すると著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。
尚、乱丁、落丁がございましたらお取り替えいたします。

*正誤情報、発行後の法令改正、最新統計、診療ガイドライン関連の情報につきましては、
弊社ウェブサイト (<http://www.rdcnet.jp/>)にてお知らせいたします。

DHS 歯科衛生士部

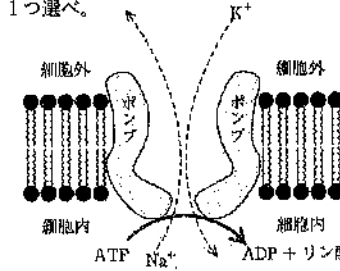
第33回 歯科衛生士 国家試験問題 解答

Table with columns for question number, answer, subject, and score. It is divided into '午前問題' (Morning Questions) and '午後問題' (Afternoon Questions) sections.

※出題基準 1 人体(歯・口腔を除く。)の構造と機能 2 歯・口腔の構造と機能 3 疾病の成り立ち及び回復過程の促進 4 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み 5 歯科衛生士概論 6 臨床歯科医学 7 歯科予防処置論 8 歯科保健指導論 9 歯科診療補助論

33-A 午前問題解説

【問題 1】 細胞膜内外のイオンの移動を模式図に示す。この移動はどれか。1つ選べ。



- a 拡散
b 浸透
c 濾過
d 能動輸送

答え d
x a 細胞膜内外のイオン濃度勾配の作用で、高い濃度から低い濃度に物質が移動することを拡散という。拡散は受動輸送の1つで、アデノシン三リン酸(ATP)のエネルギーは消費せずに行うことができる。
x b 濃度の高い方に水が移動することを浸透という。また、水を引き寄せる力そのものを浸透圧という。浸透は受動輸送の1つで、ATPのエネルギーは消費せずに行うことができる。
x c 細胞膜を通過できる物質(水や低分子の物質)を静水圧の差や浸透圧によって移動させることを濾過という。濾過は受動輸送の1つで、ATPのエネルギーは消費せずに行うことができる。
o d 能動輸送とは図のように細胞がATPのエネルギーを利用してイオンなどの物質を濃度勾配に逆らって輸送する様式である。

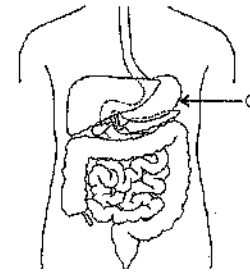
【問題 2】 2根を有する歯(FDI歯式)はどれか。1つ選べ。

- a 24
b 45
c 54
d 65

答え a
o a 24は上顎左側第一小臼歯で、2根を有する。
x b 45は下顎右側第二小臼歯で、1根を有する。
x c 54は上顎右側第一乳臼歯で、3根を有する。
x d 65は上顎左側第二乳臼歯で、3根を有する。

【問題 3】 消化器系を模式図に示す。

①から分泌されるのはどれか。1つ選べ。



- a アミラーゼ
b トリプシン
c キモトリプシン
d ペプシノーゲン

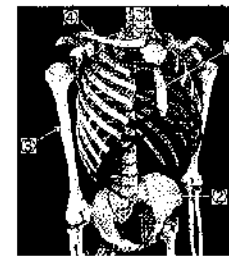
答え d
x a アミラーゼは唾液や膵液に含まれる酵素で、耳下腺や膵臓から分泌される。
x b トリプシンは膵液に含まれる酵素である。トリプシノーゲンとして膵臓から分泌され、エンテロキナーゼによりトリプシンに変換される。
x c キモトリプシンは膵液に含まれる酵素である。キモトリプシノーゲンとして膵臓から分泌され、エンテロキナーゼやトリプシンによりキモトリプシンに変換される。
o d ペプシノーゲンは①の胃から分泌され、酸によってペプシンになる。

【問題 4】 歯乳頭由来の細胞が形成するのはどれか。1つ選べ。

- a 歯髄
b 歯根膜
c エナメル質
d セメント質

答え a
o a 歯髄は歯乳頭由来の細胞から形成される。
x b, x d 歯根膜、セメント質、歯槽骨などの歯周組織は歯小囊由来の細胞から形成される。
x c エナメル質はエナメル器由来の細胞から形成される。

【問題 5】 全身骨格の写像の一部(別冊午前No.1)を別に示す。寛骨はどれか。1つ選べ。



- a ①
b ②
c ③
d ④

答え b
x a ①は胸骨である。
o b ②は寛骨である。骨盤帯を形成する腸骨、坐骨、恥骨のことを寛骨という。
x c ③は右側上腕骨体である。
x d ④は鎖骨である。

【問題 6】 下顔面の写像(別冊午前No.2)を別に示す。



矢印で示す部位の触覚を伝えるのはどれか。1つ選べ。
a 頬神経
b 舌神経
c 眼窩下神経
d オトガイ神経

答え d
x a 頬神経は頬粘膜から下顎大臼歯部頰側歯肉内の触覚(知覚)に関与する。
x b 舌神経は舌の前方2/3の触覚(知覚)に関与する。
x c 眼窩下神経は下眼瞼、鼻翼、上唇の触覚(知覚)に関与する。
o d オトガイ神経は矢印で示す下唇の触覚(知覚)に関与する。

【問題 7】 血漿タンパク質はどれか。1つ選べ。
 a. ケラチン
 b. アルブミン
 c. コラーゲン
 d. ヘモグロビン

答え b
 × a ケラチンは上皮細胞によって合成される細胞骨格を構成するタンパク質の1つである。
 ○ b アルブミン、グロブリン、フィブリノーゲンは血漿タンパク質である。
 × c コラーゲンは結合組織の主成分で、繊維状の構造を持った高分子タンパク質である。
 × d ヘモグロビンは赤血球中に存在するタンパク質である。

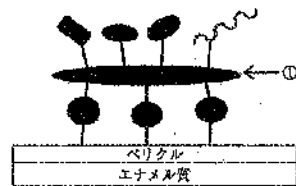
【問題 8】 単純脂質はどれか。1つ選べ。
 a. 胆汁酸
 b. 中性脂肪
 c. リン脂質
 d. コレステロール

答え b
 × a 胆汁酸は、コレステロールから作られる最大量の生体内物質で、肝臓で生合成された後、一旦胆嚢に蓄えられる。
 ○ b 単純脂質とはグリセロールと脂肪酸が結合したもので、中性脂肪がこれに該当する。
 × c リン脂質は複合脂質である。複合脂質は、単純脂質に加え、リン酸、糖類、窒素化合物などが結合したものである。
 × d 脂肪酸、コレステロール、ステロイドなどは誘導脂質であり、単純脂質や複合脂質が加水分解されることで生じる。

【問題 9】 ワルファリンカリウムの薬理作用により減少するのはどれか。1つ選べ。
 a. 血小板
 b. 赤血球
 c. 白血球
 d. 血液凝固因子

答え d
 × a, × b, × c 赤血球、白血球、血小板などの血球成分はワルファリンカリウムの薬理作用により減少しない。
 ○ d ワルファリンカリウムの薬理作用は、ビタミンKの作用に拮抗することで、血液凝固因子(第II、第VII、第IX、第X因子)を減少させ、最終的に血栓の元になるフィブリンの産生を抑えることによって血液の抗凝固作用をあらわす。

【問題 10】 歯垢細菌の共凝集の模式図を示す。
 ①のグラム陰性菌はどれか。1つ選べ。



(Kolenbrander PBら、1993より改変)

- a. *Treponema denticola*
- b. *Streptococcus mutans*
- c. *Fusobacterium nucleatum*
- d. *Porphyromonas gingivalis*

答え c
 × a *Treponema denticola* は運動性のらせん状菌である。
 × b *Streptococcus mutans* はグラム陽性球菌である。
 ○ c ペリクルの成分と細菌は、特異的に結合することで歯面に付着・定着し、細菌同士も特異的に結合することで模式図のように歯垢細菌の共凝集を示す。①のグラム陰性菌は *Fusobacterium nucleatum* である。
 × d *Porphyromonas gingivalis* はグラム陰性菌であるが、①の *Fusobacterium nucleatum* に特異的に結合する。

【問題 11】 COVID-19 の病原体はどれか。1つ選べ。
 a. 細菌
 b. 真菌
 c. ウイルス
 d. プリオン

答え c
 × a, × b, ○ c, × d COVID-19 は「CORonaVirus Infectious Disease, emerged in 2019」に由来する命名であり、COVID-19 それ自体が正式名称(略称ではない)であり、日本では「新型コロナウイルス感染症」ということが多い。COVID-19 は新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)による感染症である。

【問題 12】 生体防御に関わる分子の模式図を示す。
 産生細胞はどれか。1つ選べ。



- a. T細胞
- b. 好中球
- c. 形質細胞
- d. 樹状細胞

答え c
 × a T細胞は骨髄で生成し、成熟する細胞で、細胞性免疫の主体となる。慢性炎症で多くみられる。
 × b 好中球は白血球中の1つで貪食による異物処理を主たる機能とする。白血球全体の約50~65%を占め、最も多い。急性炎症で多くみられる。
 ○ c 形質細胞は骨髄で生成、成熟するB細胞が分化した細胞で、模式図で示す抗体を産生する。慢性炎症で多くみられる。
 × d 樹状細胞、B細胞、単球(マクロファージ)は抗原提示細胞である。抗原提示細胞とは体内に侵入してきた細菌やウイルス感染細胞などの断片を抗原として自己の細胞表面上に提示し、T細胞を活性化させる細胞である。

【問題 13】 下顎小白歯の模式図を示す。
 矢印で示すのはどれか。1つ選べ。



- a. 臼後結節
- b. 臼傍結節
- c. 中心結節
- d. Carabelli (カラベリー) 結節

答え c
 × a 臼後結節は上下顎智歯の遠心隣接面に形成された小結節である。
 × b 臼傍結節は下顎智歯や第二小白歯の頰側歯冠面(頰側近心咬頭)に生じる異常結節である。
 ○ c 中心結節は模式図に示すように下顎小白歯の咬合面にみられる結節である。
 × d Carabelli (カラベリー) 結節は上顎第一大臼歯の近心舌側咬頭の舌側面近心部にみられる結節である。

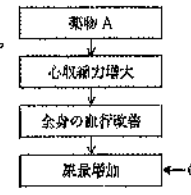
【問題 14】 失活歯の根尖に生じるのはどれか。1つ選べ。

- a. 歯根嚢胞
- b. 含菌性嚢胞
- c. 鼻口蓋管嚢胞
- d. 歯原性角化嚢胞

答え a
 ○ a 歯根嚢胞は根尖部の肉芽組織中のマラッセの残遺上皮が感染刺激で増殖し、嚢胞を形成したものである。失活歯の根尖部に生じ、大半は自覚症状がない。
 × b 含菌性嚢胞は埋伏歯の歯冠を嚢胞腔内を含む発育性歯原性嚢胞である。
 × c 鼻口蓋嚢胞は鼻口蓋管の残存上皮に由来する嚢胞で、歯原性嚢胞ではない。
 × d 歯原性角化嚢胞は顎骨内に生じる嚢胞で、下顎角部から下顎枝部に下顎の智歯の欠如とともに発生することが多い。主に歯胚組織が嚢胞化することが原因とされる。

【問題 15】 心不全の治療に使用される薬物Aの薬理効果を図に示す

①が示す薬理作用はどれか。1つ選べ。



- a. 間接作用
- b. 協力作用
- c. 補充作用
- d. 抑制作用

答え a
 ○ a 薬物投与によって直接生じる作用を直接作用といい、直接作用の結果、二次的に生じる作用を間接作用という。心不全治療薬である強心薬(薬物A)が心収縮力を増大させるのは直接作用であり、①が示す尿量増加は間接作用である。
 × b 協力作用とは、薬理作用が類似した薬物を併用した際に単独投与よりも効果が増強する作用のことである。血管収縮薬が添加された局所麻酔薬が該当する。
 × c 補充作用とは生体に不足している物質を補う作用のことである。ホルモン剤やビタミン剤などが該当する。
 × d 抑制作用とは薬物投与によって特定の細胞・器官の機能を低下させる作用のことである。睡眠薬や局所麻酔薬などが該当する。

【問題 16】 「すべての人が適切な予防、治療、リハビリテーション等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる状態」を指すのはどれか。1つ選べ。
 a. 持続可能な開発目標 (SDGs)
 b. ヘルスプロモーション (HP)
 c. プライマリーヘルスケア (PHC)
 d. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)

答え d
 × a 持続可能な開発目標 (SDGs) とは、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標である17のゴールが設定され、地球上の「誰一人取り残さない (leave no one behind)」ことを誓っている。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいる。
 × b ヘルスプロモーション (HP) とは、WHOがオタワ憲章で「人々が自らの健康をコントロールし、改善することができるようにするプロセス」と定義した健康増進戦略である。
 × c プライマリーヘルスケア (PHC) とは、「2000年までにすべての人々に健康を」というスローガンを掲げて、WHO加盟国によってアルマ・アタ宣言として承認された。「すべての人にとって健康を、基本的な人権として認め、その達成の過程において、住民の主体的な参加や自己決定権を保障する理念である」。
 ○ d ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) とは、「すべての人が適切な予防、治療、リハビリテーション等の保健医療サービスを、支払い可能な費用で受けられる状態」を目指すもので、WHOの優先課題である。SDGsのゴール3の「すべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」のターゲットの1つとして位置づけられている。

【問題 17】 フッ化ナトリウム、正リン酸および蒸留水からなる薬剤を用いるのはどれか。1つ選べ。
 a フッ化物洗口
 b フッ化物歯面塗布
 c フッ化物配合歯磨剤
 d フッ化物パーニッシュ

答え b
 × a フッ化物洗口ではフッ化ナトリウム溶液（毎日法では225ppmまたは450ppm、週1回法では900ppm）を用いる。
 ○ b フッ化ナトリウム、正リン酸および蒸留水からなる薬剤とは、リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液（APF溶液）のことである。フッ化物歯面塗布には、APF溶液（9,000ppm）、2%フッ化ナトリウム溶液（9,000ppm）、フッ化第一スズ溶液（9,700ppmまたは19,400ppm）を用いる。APF溶液と2%フッ化ナトリウム溶液は製剤として市販されている。
 × c フッ化物配合歯磨剤には、モノフルオロリン酸ナトリウム、フッ化ナトリウム、フッ化第一スズ（1,500ppm以下）が用いられる。
 × d フッ化物パーニッシュには、フッ化ナトリウム（22,600ppm）が含まれる。

【問題 18】 2名の被験者の唾液に同量の乳酸を添加する前後のpHを表に示す。
 添加前後のpHの変化に影響したと考えられる唾液成分はどれか。1つ選べ。

	添加前	添加後
a ムチン		
b 重炭酸塩	被験者A 6.8	3.8
c アミラーゼ	被験者B 7.0	6.1
d リゾチーム		

答え b
 × a ムチンには粘膜保護作用、歯質保護作用、潤滑作用がある。
 ○ b 乳酸添加前後のpHの変化に影響したのは被験者の唾液緩衝能である。唾液成分の1つである重炭酸塩やリン酸塩は緩衝物質である。
 × c 唾液成分の1つであるアミラーゼには消化作用がある。
 × d 唾液成分の1つであるリゾチーム、ペルオキシダーゼ、ラクトフェリン、ヒスタチンなどには抗菌作用がある。

【問題 19】 児童虐待の相談種別（相談内容別）件数の推移の図を示す。

①はどれか。1つ選べ。
 ただし、①～④はa～dのいずれかに該当する。

a 性的虐待 b 身体的虐待
 c 心理的虐待 d ネグレクト

答え c
 × a 性的虐待は④であり、約1%と最も少ない。
 × b 身体的虐待は②であり、約20%である。
 ○ c 心理的虐待は③であり、約60%と最も多い。
 × d ネグレクト（育児放棄）は④であり、約15%である。

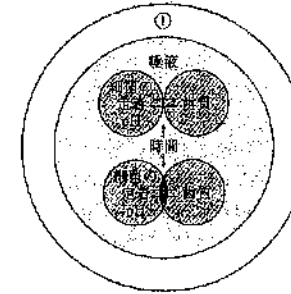
【問題 20】 歯磨剤の薬用成分のうち、歯周病予防を目的に配合されるのはどれか。1つ選べ。
 a 硝酸カリウム
 b トラネキサム酸
 c 乳酸アルミニウム
 d モノフルオロリン酸ナトリウム

答え b
 × a、× c 硝酸カリウム、乳酸アルミニウム、塩化ストロンチウムには、知覚過敏抑制作用がある。
 ○ b トラネキサム酸、グリチルリチン酸には、歯周病予防作用、消炎作用がある。
 × d モノフルオロリン酸ナトリウム、フッ化ナトリウム、フッ化第一スズには、う蝕予防作用、歯質強化作用がある。

【問題 21】 歯科衛生士法に規定されているのはどれか。2つ選べ。
 a 医療提供の理念
 b 処方せんの交付
 c 秘密保持の義務
 d 名称の使用制限

答え c d
 × a 医療提供の理念は医療法で規定されている。
 × b 処方せんの交付は医師法や歯科医師法で規定されている。
 ○ c 歯科衛生士法第13条の6において「歯科衛生士は、正当な理由がなく、その業務上知り得た人の秘密を漏らしてはならない。」と秘密保持の義務が規定されている。
 ○ d 歯科衛生士法第13条の7において「歯科衛生士でない者は、歯科衛生士又はこれに紛らわしい名称を使用してはならない。」と名称の使用制限が規定されている。

【問題 22】 Fejerskovによるう蝕の発生要因を図に示す。
 ①に該当する要因はどれか。2つ選べ。



- a 所得
 b 家族形態
 c 歯列不正
 d 咬合面形態

答え a b
 ○ a、○ b ①は社会環境要因や保健行動要因である。社会環境要因には、社会階層、所得（収入）、教育、家族形態などが該当する。保健行動要因として、知識、態度、習慣などがある。
 × c 歯列不正は「Keyesの3つの輪」における宿主要因である。
 × d 咬合面形態は「Keyesの3つの輪」における宿主要因である。

【問題 23】 小学校の定期健康診断で正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 組織活動の一部として行われる。
 b 保健調査は健康診断の前に行う。
 c 毎学年6月30日までに実施する。
 d 1か月後に結果を本人に通知する。

答え b c
 × a 組織活動ではなく、保健管理→対人管理→心身の管理の一部として行われる。
 ○ b 保健調査とは、健康診断をより効果的にするために、生活習慣や身体・口の不調などを健康診断の前にアンケートなどを行う調査のことである。
 ○ c 小学校の定期健康診断は毎学年6月30日までに実施する。
 × d 小学生の場合は、健康診断実施後21日以内に保護者に通知する。

【問題 24】 口腔の自然的清掃に関係するのはどれか。2つ選べ。
 a 呼吸
 b 洗口
 c 咀嚼
 d 唾液

答え c d
 × a 呼吸は口腔清掃法（自然的清掃法、機械的清掃法、手術的清掃法、化学的清掃法）に関与しない。
 × b ブラッシング後の洗口は機械的清掃法（人工的清掃法）に該当し、洗口剤による洗口は化学的清掃法に該当する。
 ○ c、○ d 口腔の自然的清掃法には、口腔内の解剖学的形態、唾液流出量、咀嚼機能、食物の種類などが関与する。

【問題 25】 食品を十分に加熱して食べたところ、3時間後に悪心が生じ、嘔吐した。
 食中毒の原因菌として考えられるのはどれか。1つ選べ。
 a 腸炎ビブリオ
 b 黄色ブドウ球菌
 c サルモネラ属菌
 d 腸管出血性大腸菌

答え b
 × a、× c、× d 腸炎ビブリオ、サルモネラ属菌、腸管出血性大腸菌、カンピロバクターはいずれも感染型の細菌性食中毒の原因菌である。これらは食前加熱による予防が有効である。
 ○ b 食品を十分に加熱して食べたところ、3時間後に悪心が生じ、嘔吐したという点から食前加熱による予防が無効だったと考えられる。黄色ブドウ球菌は毒素型の細菌性食中毒の原因菌で、食前加熱による予防が無効であるという特徴がある。

【問題 26】 ある町の人口構成を表に示す。
 従属人口数はどれか。

年齢層	人数
0～14歳	3,000人
15～19歳	1,000人
20～64歳	15,000人
65～74歳	5,000人
75歳以上	6,000人
合計	30,000人

- 1つ選べ。
 a 9,000人
 b 11,000人
 c 14,000人
 d 16,000人

答え c
 × a、× b、○ c 従属人口=年少人口（0～14歳）+老年人口（65歳以上）である。したがって、従属人口数=3,000+5,000+6,000=14,000（人）となる
 × d 生産年齢人口（15～64歳）は1,000+15,000=16,000（人）である。

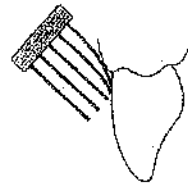
【問題 27】 医療法に基づき二次医療圏を単位として整備されるのはどれか。1つ選べ。
 a 介護医療院
 b 特定機能病院
 c 地域医療支援病院
 d 臨床研究中核病院

答え c
 × a 医療法に基づいて開設された病院や診療所が、介護保険法に基づいて開設されるのが介護医療院や介護老人保健施設である。したがって、介護医療院は介護保険施設の1つであり、医療法に基づき二次医療圏を単位として整備されていない。
 × b 特定機能病院(大学病院など)は医療法に基づき三次医療圏を単位として整備される。厚生労働大臣が承認する。
 ○ c 地域医療支援病院(県立病院など)は医療法に基づき二次医療圏を単位として整備される。都道府県知事が承認する。
 × d 臨床研究中核病院(全国で15 病院)は国際水準の臨床研究や医師主導治験の中心的役割を担う病院である。特定機能病院、地域医療支援病院と同じく医療法で定められた病院で、厚生労働大臣が承認する。

【問題 28】 水道法に基づく水質基準で「フッ素及びその化合物」の基準値はどれか。1つ選べ。
 a 0.4mg/L以下
 b 0.8mg/L以下
 c 1.2mg/L以下
 d 1.6mg/L以下

答え b
 × a、○ b、× c、× d 水道法に基づく水質基準で「フッ素及びその化合物」の基準値は0.8mg/L以下(0.8ppm以下)である。

【問題 29】 あるブラッシング法の開始時点における歯と歯ブラシの位置関係を図に示す。ブラッシング法はどれか。1つ選べ。
 a フォーンズ法
 b ローリング法
 c スティルマン法
 d チャーターズ法



答え d
 × a フォーンズ法は、毛先を歯面に直角に当てて、円を描きながら、前方に動かす。
 × b ローリング法は、毛先が根尖に向くように腕を歯肉と歯頸部に押し当て、次に回転させながら切端、咬合面方向へ動かす。
 × c スティルマン法は、毛先を根尖に向け、毛先が歯軸と45°に歯肉と歯頸部に接触するように当て、圧迫振動させる。
 ○ d チャーターズ法は、図のように毛先を切端、咬合面に向けて、腕を歯肉と歯頸部に当てて、毛先が歯間部に入ったところで圧迫振動後、根尖方向に回転させる。

【問題 30】 地域保健法第18条で、地域住民に対して健康相談、保健指導、健康診査などの対人保健サービスを行うことを目的とする施設はどれか。1つ選べ。
 a 保健所
 b 市町村保健センター
 c 地域医療支援センター
 d 地域包括支援センター

答え b
 × a 保健所は地域保健法で規定される地域健康危機管理の拠点であり、人口動態統計、食品衛生、環境衛生、母子保健、老人保健、歯科保健、精神保健、疾病の予防に関する業務などを行う。
 ○ b 市町村保健センターは地域保健法で規定される対人保健サービスを総合的に行う拠点である。地域住民に対して健康相談、保健指導、健康診査などを行う。
 × c 地域医療支援センターは医療法で規定されており、地域の医療機関や患者を支援する拠点である。地域医療の連携や情報提供を行う。厚生労働省や各都道府県が運営している。
 × d 地域包括支援センターは介護保険法で規定されており、市町村に設置される地域包括的支援事業を行う拠点である。

【問題 31】 病院における感染対策チーム(ICT: Infection control team)の役割で適切なのはどれか。2つ選べ。
 a 原疾患治療の促進
 b 医療事故報告の収集
 c 院内感染発生状況の把握
 d 手洗い実施状況の定期的な確認

答え c d
 × a 原疾患治療の促進は、栄養サポートチーム(NST)の役割の1つである。
 × b 医療事故報告の収集は、医療事故調査・支援センターの業務の1つである。
 ○ c、○ d 感染対策チーム(ICT)は、院内感染症から患者、その家族、職員の安全を守るために活動する組織である。医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床検査技師、理学療法士、放射線技師など多職種によって、組織横断的に病院全体の感染対策活動に従事し、感染症に対する良質かつ適切なチーム医療を推進している。その役割は、院内感染発生状況の把握、手洗い実施状況の定期的な確認把握、病院感染対策の立案と実施、職員の教育・啓発などである。

【問題 32】 地域住民を対象とした歯科保健状況と食生活習慣に関する調査研究の依頼を受けて、研究計画を立案することになった。この調査研究に際して遵守するのはどれか。1つ選べ。
 a シドニー宣言
 b リスボン宣言
 c ジュネーブ宣言
 d ヘルシンキ宣言

答え d
 × a シドニー宣言は「死の判定」に関する声明である。
 × b リスボン宣言には「患者は医師や病院を自由に選択し変更する権利を有する」と患者の権利が謳われている。
 × c ジュネーブ宣言は世界医師総会で採択された医師の職業倫理宣言で、「患者の健康を第一の関心事とする」と謳われている。
 ○ d ヘルシンキ宣言はヒトを用いた臨床研究の倫理に関する宣言である。地域住民を対象とした歯科保健状況と食生活習慣に関する調査研究はヒトを用いた臨床研究のため、遵守するのはヘルシンキ宣言である。

【問題 33】 ヒューマンエラーによる医療事故の発生防止策に含まれるのはどれか。2つ選べ。
 a リスクの把握
 b システムの総統化
 c 作業プロセスの容易化
 d 材料パッケージの類似化

答え a c
 ○ a リスクを予め把握しておくことは、医療事故の発生防止策として有効である。
 × b ヒューマンエラーが起こらないようなシステムの構築が医療事故の発生防止策として重要である。
 ○ c 作業プロセスが容易化することは、医療事故の発生防止策として有効である。
 × d 材料パッケージが類似していると、医療事故の発生を招きやすい。

【問題 34】 13歳の女子。ブラッシング時の出血を主訴として来院した。歯科医師からの指示で、歯ブラシとデンタルフロスの使い方を指導することになった。2週後のデンタルフロス使用状況記録の一部を図に示す。

・歯解だけど、1日1回はデンタルフロスを使うようにしています。
 ・デンタルフロスを使うことに慣れてきました。

自己効力感を高めるための言語的説得に該当するのはどれか。1つ選べ。
 a 使い続けられて偉いですね。
 b 面倒なこともありますよね。
 c 就寝前は使うようにしましょう。
 d デンタルフロスを使うと口の中がさっぱりしますよ。

答え a
 ○ a 自己効力感とは、行動に対して「自分にはここまでできる」という自信のことである。「使い続けられて偉いですね。」と行動能力があることを他人から説明されているので言語的説得に該当する。
 × b 「面倒なこともありますよね。」は共感しているだけで、自己効力感を高めてはいない。
 × c 「就寝前は使うようにしましょう。」は口腔衛生指導ではあるが、自己効力感を高めてはいない。
 × d 「デンタルフロスを使うと口の中がさっぱりしますよ。」はデンタルフロス使用の効果を説明しているだけで、自己効力感を高めてはいない。

【問題 35】 唾液の分泌量を評価するのはどれか。1つ選べ。
 a Swabテスト
 b Saxonテスト
 c Rogosaテスト
 d Fosdickテスト

答え b
 × a、× c、× d Swabテスト、Rogosaテスト、Fosdickテストはう蝕活動性試験である。
 ○ b Saxonテストは唾液の分泌量を評価する検査である。

【問題 36】 MRIで利用するのはどれか。1つ選べ。
 a 磁気
 b 超音波
 c エックス線
 d マイクロ波

答え a
 ○ a、× b、× c、× d MRIは磁気を利用した画像検査である。超音波やエックス線、マイクロ波は利用しない。

【問題 37】 ある検査の準備時の写真(別冊午前No.3A)と、検査時の写真(別冊午前No.3B)を別に示す。この検査で調べる組織はどれか。1つ選べ。

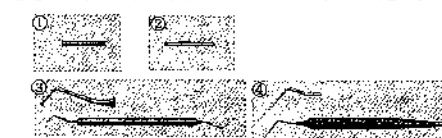


- a 歯髄
- b 歯肉
- c 歯根膜
- d 歯槽骨

答え a
 ○ a、× b、× c、× d 写真を見ると、冷刺激により歯髓の生死を判定する温度診を行っていることが判断できる。したがって、この検査で調べる組織は歯髄である。

【問題 38】 器具の写真(別冊午前No.4)を別に示す。非侵襲的修復法(ART)に用いるのはどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④




答え c

× a ホワイトポイントは非侵襲的修復法(ART)には用いない。
× b ダイヤモンドポイントは非侵襲的修復法(ART)には用いない。
○ c 非侵襲的修復法(ART)はエクスカーベーターなどの手用切削器具でう蝕を除去してグラスアイオノマーセメントを充填する術式である。
× d スプレッターは非侵襲的修復法(ART)には用いない。

【問題 39】 58歳の女性。歯肉の着色が気になることを主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.5)を別に示す。関連するのはどれか。1つ選べ。

a 飲酒
b 喫煙
c 栄養不足
d ストレス



答え b

× a、○ b、× c、× d 口腔内写真をみると、歯肉にメラニン色素が沈着しており、喫煙による影響が関連していると考えられる。

【問題 40】 歯髄保存療法と使用される材料・薬剤の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。


a 間接覆髄法 — フェノール製剤
b 直接覆髄法 — MTAセメント
c 歯髄鎮静療法 — 酸化亜鉛ユージオールセメント
d 暫間的間接覆髄法 — リン酸亜鉛セメント

答え bc

× a 間接覆髄法には水酸化カルシウム製剤などが用いられるが、フェノール製剤は用いられない。
○ b 直接覆髄法にはMTAセメントが用いられる。
○ c 歯髄鎮静療法には酸化亜鉛ユージオールセメントが用いられる。
× d 暫間的間接覆髄法には水酸化カルシウム製剤やタンニン・フッ化物合剤配合カルボキシレートセメントが用いられるが、リン酸亜鉛セメントは用いられない。

【問題 41】 38歳の女性。ブラッシング時の下顎前歯部歯肉の疼痛を主訴として来院した。歯ブラシや歯間ブラシが歯肉にあたりとヒリヒリして痛み、容易に出血することを繰り返すという。両側臼歯部の歯肉頰移行部にも同様に痛みが生じることもあるという。慢性剥離性歯肉炎と診断された。初診時の口腔内写真(別冊午前No.6)を別に示す。関連するのはどれか。1つ選べ。

a 降圧剤の服用
b 上皮の脆弱性
c 免疫機能の低下
d オキシトシンの変動




答え b

× a、○ b、× c、× d 口腔内写真をみると、歯肉上皮の剥離がみられ、慢性剥離性歯肉炎と診断されていることから、上皮の脆弱化や角化異常などが考えられる。

【問題 42】 37歳の男性。下顎右側第二大臼歯の冷水痛を主訴として来院した。二次う蝕によるコンポジットレジン修復の一部脱離が認められた。脱離している部分に対して補修修復が行われることになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No.7A)、窩洞形成後の口腔内写真(別冊午前No.7B)およびコンポジットレジン充填直後の口腔内写真(別冊午前No.7C)を別に示す。この処置に用いたのはどれか。2つ選べ。

a 正リン酸
b ポリカルボン酸
c 硫黄含有プライマー
d シランカップリング剤




答え ad

○ a、○ d コンポジットレジン修復の一部脱離に対する補修修復であり、正リン酸やシランカップリング剤で処理してコンポジットレジン接着させたと判断できる。
× b ポリカルボン酸はグラスアイオノマーセメント修復に用いられる。
× c 硫黄含有プライマーは金属接着性プライマーに用いられる。

【問題 43】 46歳の男性。上顎左側臼歯部の違和感を主訴として来院した。慢性歯周炎と診断され、歯周基本治療を行った。再評価後、歯周外科処置を行うことになった。再評価時の口腔内写真(別冊午前No.8A)、エックス線画像(別冊午前No.8B)および歯周組織検査結果の一部(別冊午前No.9)を別に示す。上顎左側臼歯部に行うのはどれか。1つ選べ。

a ENAP
b フラップ手術
c 遊離歯肉移植術
d 歯肉弁側方移動術



動揺度(Millerの分類)	0	1	2
角化歯肉幅(mm)	5	5	4
頰側 PPD(mm)	2	2	3
舌側 PPD(mm)	2	2	3
歯槽	23	24	25
口蓋側 PPD(mm)	3	2	2
歯槽	2	2	2
舌側 PPD(mm)	3	3	4

○印：プロービング時の出血

答え b

× a ENAPは3~5mm程度の骨縁上ポケットに適用する。
○ b 垂直性骨吸収を伴う4mm以上のポケットであり、フラップ手術の適応である。
× c、× d 遊離歯肉移植術と歯肉弁側方移動術は歯周形成手術であり、深いポケットには適用しない。

【問題 44】 根面う蝕の特徴はどれか。2つ選べ。


a 環状に進行する。
b 歯肉退縮を伴う。
c 急激な進行を示す。
d 若年者にみられる。

答え ab

○ a 根面う蝕は環状に進行する。
○ b 根面う蝕は歯肉退縮で根面が露出している症例に生じる。
× c 根面う蝕の進行は緩慢である。
× d 根面う蝕は根面が露出した高齢者に多い。

【問題 45】 62歳の男性。上顎右側中切歯の動揺と冷水痛を主訴として来院した。昨日転倒し顔面を打撲したという。歯冠破折が認められたため、麻酔抜髄に先立ち、破折部および感染歯質を除去し隔壁を形成することになった。初診時のエックス線画像(別冊午前No.10A)と浸潤麻酔後、破折片を除去した時の口腔内写真(別冊午前No.10B)を別に示す。この治療における隔壁形成の目的はどれか。2つ選べ。

a 審美性の回復
b 接触点の付与
c クランプの固定
d 唾液の浸入防止

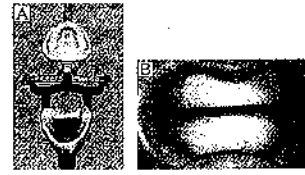


答え cd

× a、× b 審美性の回復や接触点の付与は、麻酔抜髄を行う際の隔壁形成の目的ではない。
○ c、○ d 麻酔抜髄を行う際の隔壁形成により、ラバーダム防湿を確実に行うことができる。したがって、この症例の隔壁形成の目的としてクランプの固定や唾液の浸入防止が挙げられる。

【問題 46】 82歳の男性。咀嚼困難を主訴として来院した。診査の結果、上下顎全部床義歯を新しく製作することになった。製作過程で使用する装置の写真(別冊午前No.11A)と試適時の口腔内写真(別冊午前No.11B)を別に示す。この操作でわかることはどれか。1つ選べ。

a 咬合高径
b 水平的顎位
c 仮想咬合平面
d リップサポート



答え b

× a 咬合高径の決定には、デンタルノギスやバイトゲージを用いる。
○ b 写真はゴシックアーチ描記装置で、水平的顎位の決定に用いる。
× c 仮想咬合平面の決定には、咬合平面測定板を用いる。
× d リップサポートの決定は、ワックスパチュラやエバンスを用いて咬合床の唇側面の豊隆度を調整することによって行われる。

【問題 47】 固定性ブリッジに使用するポンティックはどれか。2つ選べ。

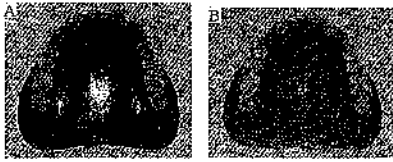
a 鞍状型
b 有床型
c 離底型
d リッジラップ型

答え cd

× a、× b 鞍状型と有床型のポンティックは可摘性ブリッジに使用する。
○ c、○ d 離底型、リッジラップ型、偏側型、船底型のポンティックは固定性ブリッジに使用する。

【問題 48】 2種類の全部床義歯の写真(別冊午前No.12A、B)を別に示す。

- Bと比較したAの特徴はどれか。2つ選べ。
 a 薄くできる。 b 熱伝導性が高い。
 c 修理が容易である。 d プラークが付着しやすい。

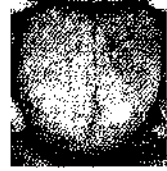


【問題 49】 ヘルパンギーナについて正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 乳幼児に好発する。
 b 冬期に流行しやすい。
 c 手足の皮膚に小水疱が生じる。
 d ヘルペスウイルスが原因である。

【問題 50】 58歳の男性。舌の痛みを主訴として来院した。6か月前から舌の灼熱感を自覚するようになり、最近痛みのため食事がしにくいという。鉄欠乏性貧血の既往がある。初診時の舌の写真(別冊午前No.13)を別に示す。

- 観察できるのはどれか。1つ選べ。
 a 莓舌
 b 溝状舌
 c 平滑舌
 d 地図状舌



【問題 51】 70歳の男性。口蓋の違和感を主訴として来院した。2か月前から症状を自覚するようになり、改善しないという。喘息のため、ステロイド吸入薬による治療を受けているという。初診時の口腔内写真(別冊午前No.14)を別に示す。

- 原因として考えられるのはどれか。1つ選べ。
 a *Candida albicans*
 b *Tannerella forsythia*
 c *Actinomyces viscosus*
 d *Prevotella intermedia*



【問題 52】 8歳の男児。下唇の腫脹を主訴として来院した。2週前から症状を自覚し、次第に増大してきたという。特記すべき既往歴はない。粘液嚢胞と診断された。初診時の口腔内写真(別冊午前No.15)を別に示す。

- この疾患の特徴はどれか。1つ選べ。
 a 弾性軟である。
 b 強い接触痛がみられる。
 c 内部に血液が貯留している。
 d Nikolsky(ニコルスキー)現象がみられる。



【問題 53】 4歳の女児。悪習癖により歯列異常が生じることを母親が心配して来院した。悪習癖を行っている時の写真(別冊午前No.16)を別に示す。

- この行為によって増加するのはどれか。1つ選べ。
 a オーバーバイト
 b 上顎歯列弓幅径
 c オーバージェット
 d トゥースサイズレイシオ



- 答え a b
 ○a Aは金属床義歯で、Bはレジン床義歯である。金属床(A)は強度があるので、薄くできる。
 ○b 金属床(A)は熱伝導性が高い。
 ×c 金属床(A)は修理が困難である。
 ×d 金属床(A)は吸収性がないので、プラークが付着しにくい。

- 答え a
 ○a、×b ヘルパンギーナは乳幼児に好発し、夏に流行しやすい。
 ×c 手足の皮膚に小水疱が生じるのは手足口病である。
 ×d ヘルパンギーナはコクサッキーウイルスA4が原因である。

- 答え c
 ×a 莓舌は溶連菌感染症(猩紅熱)や川崎病で見られることがある。
 ×b 溝状舌はダウン症候群で見られることが多い。
 ○c 写真では舌乳頭萎縮がみられるため、平滑舌と考えられる。平滑舌は灼熱感を伴い、鉄欠乏性貧血、悪性貧血、ビタミンB欠乏などでみられる。
 ×d 地図状舌は舌の角化異常で、灰白色の辺縁で縁どられた紅斑が地図状にみえる。

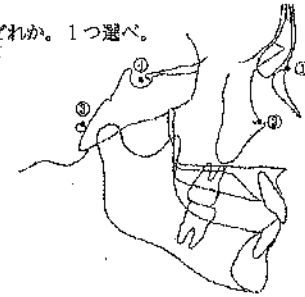
- 答え a
 ○a ステロイド吸入薬による治療を受けており、口蓋の違和感を主訴として来院していることから、写真は紅斑性カンジダ症と考えられる。カンジダ症は真菌の *Candida albicans* が原因である。
 ×b *Tannerella forsythia*、*Porphyromonas gingivalis*、*Treponema denticola* の3菌種は「Red Complex」とよばれ、重度の歯周病に影響があるといわれている。
 ×c *Actinomyces viscosus* は *Actinomyces israelii* とともに顎放線菌症でみられる。
 ×d *Prevotella intermedia* は妊娠性歯肉炎でみられる。

- 答え a
 ○a 粘液嚢胞は弾性軟である。
 ×b 粘液嚢胞では疼痛はみられない。
 ×c 粘液嚢胞の内部には血液ではなく、唾液が貯留している。
 ×d Nikolsky(ニコルスキー)現象がみられるのは天疱瘡である。

- 答え c
 ×a、×b オーバーバイトや上顎歯列弓幅径は母指吸引癖により減少しやすい。
 ○c 母指吸引癖により上顎前歯の唇側傾斜が生じオーバージェットは増加する。
 ×d トゥースサイズレイシオは母指吸引癖により変化することはない。

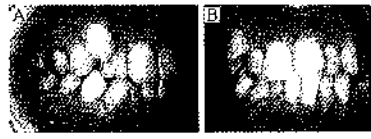
【問題 54】 側面頭部エックス線規格写真のトレース図と計測点を示す。

- 蝶形骨に関係するのはどれか。1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④



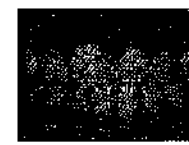
【問題 55】 20歳の女性。前歯部叢生を主訴として来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.17)を別に示す。

- 上顎右側犬歯の不正咬合はどれか。2つ選べ。
 a 移転
 b 低位
 c 遠心傾斜
 d 唇側転位



【問題 56】 10歳の男児。歯肉の腫脹を主訴として保護者と来院した。初診時の口腔内写真(別冊午前No.18)を別に示す。

- まず行うのはどれか。2つ選べ。
 a フッ化物洗口
 b 機械的歯面清掃
 c ブラッシング指導
 d フッ化物ジアンミン銀塗布



【問題 57】 生後1か月の乳児。哺乳困難を主訴として保護者と来院した。診察の結果、舌下部に潰瘍が認められた。口腔内写真(別冊午前No.19)を別に示す。

- 考えられるのはどれか。1つ選べ。
 a Koplik(コプリック)斑
 b Bednar(ベドナー)アフタ
 c Riga-Fede(リガ・フェーデ)病
 d Blandin-Nuhn(ブランディン・ヌーン)嚢胞



【問題 58】 3歳の男児。上顎左側乳中切歯の変色を主訴として保護者と来院した。歯髄壊死と診断され、感染根管治療が行われることになった。初診時の口腔内写真(別冊午前No.20)を別に示す。

- 使用される薬剤はどれか。1つ選べ。
 a クロロホルム
 b 水酸化カルシウム
 c フェノールスルホン酸
 d パラホルムアルデヒド



【問題 59】 認知症のうち、変動する認知症状、幻視、パーキンソン症状が特徴的に生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 血管性認知症
 b 前頭側頭型認知症
 c Lewy(レビー)小体型認知症
 d Alzheimer(アルツハイマー)型認知症

- 答え d
 ×a ①はナジオン(N)であり、前頭鼻骨縫合の最前点である。
 ×b ②はオルビターレ(Or)であり、眼窩縁の最下点である。
 ×c ③はポリオン(Po)であり、外耳道最上点である。
 ○d ④はセラ(S)であり、蝶形骨のトルコ鞍の中心点である。

- 答え b d
 ×a 移転は隣在歯と萌出位置が入れ替わっている状態である。
 ○b 低位は咬合平面に達していない状態であり、上顎右側犬歯は低位である。
 ×c 遠心傾斜は歯軸が遠心方向に傾いている状態である。
 ○d 唇側転位は歯が正常な位置より唇側に位置している状態であり、上顎右側犬歯は唇側転位である。


- 答え b c
 ×a フッ化物洗口はう蝕予防として重要であるが、歯肉腫脹を訴えている患者にまず行うとは考えにくい。
 ○b、○c 歯肉腫脹を訴えており、口腔内写真よりプラークが多量に付着していることが分かる。したがって、まず機械的歯面清掃やブラッシング指導を行うのがよい。
 ×d フッ化物ジアンミン銀塗布は乳歯のう蝕進行抑制剤として用いられる。

- 答え c
 ×a Koplik(コプリック)斑は頬粘膜にみられる。
 ×b Bednar(ベドナー)アフタは口蓋にみられる。
 ○c 生後1か月の乳児であるが、下顎前歯が萌出しており、相対する舌下部に潰瘍が形成されているため、Riga-Fede(リガ・フェーデ)病が考えられる。
 ×d Blandin-Nuhn(ブランディン・ヌーン)嚢胞は前舌腺に生じる粘液嚢胞であり、腫脹がみられる。

- 答え b
 ×a、○b、×c、×d 歯髄壊死に対して感染根管治療を行う症例であり、水酸化カルシウム製剤を根管封薬として使用するとよい。また、水酸化カルシウム製剤は乳歯の根管充填材としても使用される。

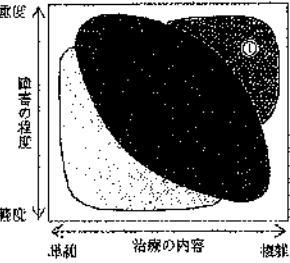
- 答え c
 ×a 血管性認知症では、まだら認知症、歩行障害、感覚障害、情動失禁が特徴的に生じる。
 ×b 前頭側頭型認知症では、徐々に進行する認知症状、人格変化、行動異常が特徴的に生じる。
 ○c Lewy(レビー)小体型認知症では、変動する認知症状、幻視、パーキンソン症状が特徴的に生じる。
 ×d Alzheimer(アルツハイマー)型認知症では、徐々に進行する認知症状、記憶障害、見当識障害、妄想、せん妄が特徴的に生じる。

【問題 60】 75歳の女性。摂食嚥下困難を主訴として来院した。既存の義歯に即時重合レジンを用いて義歯口蓋部の調整をした。口腔内写真（別冊午前No.21）を別に示す。改善できるのはどれか。1つ選べ。



a 口唇の閉鎖
b 中咽頭の収縮
c 鼻咽腔の閉鎖
d 口蓋への舌の接触


【問題 61】 障害程度と治療内容による障害者の歯科医療体制の図を示す。



①に該当するのはどれか。1つ選べ。


a 一般歯科診療所
b こども病棟の歯科
c 歯科医師会立口腔保健センター
d 歯科大学附属病院の障害者歯科

【問題 62】 脳性麻痺患者の歯科診療時の体位の写真（別冊午前No.22）を別に示す。この目的はどれか。2つ選べ。



a 脱感作
b 緊張緩和
c 反射抑制
d 適応行動の誘導

【問題 63】 78歳の男性。ブラッシング時の上顎前歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。歯科医師からスクーリングを指示された。初診時のスクーリング実施部位のエックス線画像（別冊午前No.23）を別に示す。使用するグレーシータイプキュレットはどれか。2つ選べ。



a # 1/2
b # 5/6
c # 7/8
d # 9/10

【問題 64】 成人の歯周組織で健康な状態はどれか。2つ選べ。

a 歯根膜は1.0～1.5mmの幅がある。
b 遊離歯肉は歯槽骨上縁より歯冠側にある。
c 付着歯肉ではスティッピングがみられる。
d 歯肉結合組織のおよそ15%がコラーゲン繊維である。

答え d

× a 口唇の閉鎖を改善できるのは口輪筋トレーニング器具（りっぶるとれーなー）である。
× b 義歯で中咽頭の収縮を改善することはできない。
× c 鼻咽腔の閉鎖を改善できるのは軟口蓋挙上装置（パラタルリフト）である。
○ d 既存の義歯に即時重合レジンを用いて義歯口蓋部の調整をしているので、写真の義歯は舌接触補助床であり、口蓋への舌の接触を改善できる。

答え d

× a、× b、× c、○ d ①は障害の程度が重度で、治療内容が複雑な場合なので、専門性の高い医療機関での治療が必要と考えられる。①に該当するのは、選択肢の中では歯科大学附属病院の障害者歯科と考えられる。

答え bc

× a、× d 適応行動の誘導を目的として行うのは、行動変容法（行動療法）である。脱感作法、TSD法、モデリング法、カウント法、フラットニング法、トークンエコノミー法、タイムアウト法などがある。
○ b、○ c 脳性麻痺患者は歯科診療時で仰臥位にしたり、不安や恐怖刺激があると、原始反射や不随意運動が生じやすい。そこで、写真のようにクッション、タオルなどを利用して膝を屈曲させるBobathらの反射抑制肢位にすると、筋の緊張緩和、反射抑制を行うことができる。

答え ab

○ a、○ b エックス線画像から上顎前歯部のスクーリングを行うと判断できるため、使用するのは# 1/2および# 5/6である。
× c、× d # 7/8、# 9/10は白歯部の頬舌側面に使用する。

答え bc

× a 成人の健康な歯根膜の幅は約0.2mmである。
○ b 成人の健康な遊離歯肉は歯槽骨上縁より歯冠側にある。
○ c 成人の健康な付着歯肉ではスティッピングがみられる。
× d 成人の健康な歯肉結合組織のおよそ60～65%はコラーゲン繊維である。

【問題 65】 OHIの評価結果を表に示す。

上顎	歯知能	DS	3	3	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	2	2
	CS	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
口蓋部	DS	2	1	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1
	CS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
前歯	DS	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	7
	CS	7	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	7
下顎	歯知能	DS	3	3	2	2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2
	CS	1	2	0	0	0	1	1	2	1	0	0	0	2	1	
磨砕部	DS	1	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	1	1	2	
	CS	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

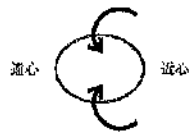
DS: debris score CS: calculus score

OHI-Sはどれか。1つ選べ。
a 2.5 b 3.0 c 3.2 d 5.0

【問題 66】 5歳の男児。定期歯科健康診査で来院した。う蝕予防のために歯科医師からフッ化物洗口剤を処方された。洗口剤の家庭での取扱いで正しいのはどれか。2つ選べ。

a 常温で保存する。
b 6か月ほど使用できる。
c プラスチック容器に保存する。
d 小児の手の届かないところに保管する。

【問題 67】 根分岐部病変の検査でファーケーションプローブの挿入方向を模式図に示す。該当するのはどれか。1つ選べ。



a 上顎第一小臼歯
b 上顎第一大臼歯
c 下顎第二小臼歯
d 下顎第一大臼歯

【問題 68】 フッ化物配合歯磨剤の使用について正しいのはどれか。2つ選べ。

a 根面う蝕予防に効果的である。
b 2歳以下での使用は禁忌である。
c 学齢期には積極的に使用を勧める。
d 唾液分泌が低下した高齢者には使用を控える。

答え a

○ a、× b、× c、× d OHI-Sは6.1、6、7の唇頰側のみを、6の舌側のみを観察する。表より、DI-S = (2+1+2+3+0+1)/6 = 1.5であり、CI-S = (1+0+1+2+0+2)/6 = 1であるため、OHI-SはDI-S + CI-S = 2.5である。

答え cd

× a 洗口液は冷暗所（冷蔵庫）で保存する。
× b 家庭用専用瓶では約1か月間の洗口ができる分量となる。
○ c 洗口液はプラスチック容器に保存するのが望ましい。
○ d 洗口液は小児の手の届かないところに保管する。


答え d

× a、× b、× c、○ d 模式図をみると、ファーケーションプローブを頬側および舌側から挿入しているため、図の歯は下顎第一大臼歯と考えられる。したがって、該当するのは第一大臼歯である。

答え ac

○ a フッ化物配合歯磨剤は根面が露出している成人の根面う蝕予防に効果的である。
× b フッ化物配合歯磨剤は6か月～2歳の小児へも使用することができる。
○ c 永久歯の萌出期である学齢期には積極的にフッ化物配合歯磨剤の使用を勧める。
× d 唾液分泌が低下した高齢者には高濃度のフッ化ナトリウム配合歯磨剤の使用をすすめる。

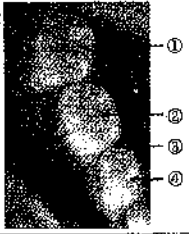
次の文を読み、〔問題 69〕、〔問題 70〕に答えよ。
 43歳の女性。SPTのため来院した。スケーリング・ルートプレーニング実施後、歯周ポケット内洗浄を行うよう歯科医師から指示された。器具の写真（別冊午前 No. 24）を別に示す。



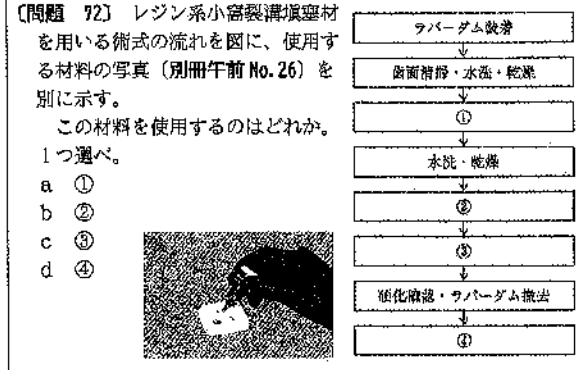
〔問題 69〕 使用するものはどれか。2つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④

〔問題 70〕 用いられるのはどれか。1つ選べ。
 a 10%過酸化水素水
 b 78%エタノール製剤
 c 0.9%塩化ナトリウム溶液
 d 0.5%次亜塩素酸ナトリウム溶液

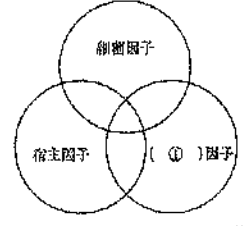
〔問題 71〕 6歳の女児。定期歯科健康診査のため来院した。歯科医師から保護者に仕上げ磨きについて指導するよう指示を受けた。口腔内写真（別冊午前 No. 25）を別に示す。
 保護者が最も注意すべき部位はどれか。1つ選べ。
 a ① b ② c ③ d ④



〔問題 72〕 レジン系小窩裂溝充填材を用いる術の流れを図に、使用する材料の写真（別冊午前 No. 26）を別に示す。
 この材料を使用するのはどれか。1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④



〔問題 73〕 歯周病のリスクファクターを図に示す。
 ①の因子に含まれるのはどれか。2つ選べ。
 a 栄養
 b 加齢
 c ストレス
 d ブラキシズム



答え bc
 × a ①は超音波スケーラーである。ポケット内洗浄には使用しない。
 ○ b ②はイリゲーション用シリンジ・ニードルである。シリンジに薬液を入れてポケット内洗浄を行う。
 ○ c ③は超音波スケーラーである。ポケット内洗浄には、イリゲーション効果のある超音波スケーラーを用いる。
 × d ④は歯面清掃器（エアポリッシャー）である。ポケット内洗浄には使用しない。


答え c
 × a、× b、○ c、× d ポケット内洗浄には0.9%塩化ナトリウム溶液が用いられる。10%過酸化水素水や78%エタノール製剤、0.5%次亜塩素酸ナトリウム溶液は使用しない。

答え a
 ○ a、× b、× c、× d 6歳児への仕上げ磨きでは、萌出途中の第一大臼歯に最も注意すべきであり、①が正しい。

答え a
 ○ a ①は酸処理である。写真の材料はリン酸処理材であり、①で使用する。
 × b ②は充填材の充填である。
 × c ③は光照射である。
 × d ④は咬合状態の確認・調整である。

答え ac
 ○ a、○ c ①の因子は環境因子であり、栄養やストレスが含まれる。
 × b、× d 加齢やブラキシズムは宿主因子である。

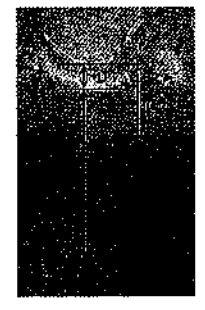
〔問題 74〕 顎模型上でのグレーシータイプキュレット操作の写真（別冊午前 No. 27）を別に示す。
 この器具で使用できるのはどれか。1つ選べ。
 a 上顎右側犬歯唇側遠心面
 b 下顎右側第二大臼歯頬側遠心面
 c 下顎左側第一大臼歯舌側中央部
 d 上顎左側第二小臼歯口蓋側遠心面



〔問題 75〕 フッ化物歯面塗布を行う時期と主な対象歯の組合せで効果的なのはどれか。2つ選べ。
 a 6歳——中切歯
 b 8歳——第二小臼歯
 c 10歳——第一大臼歯
 d 12歳——第二大臼歯

〔問題 76〕 重度の歯周病が影響するのはどれか。1つ選べ。
 a 早産
 b 白血病
 c 急性肺炎
 d 低アルカリホスファターゼ血症

〔問題 77〕 下顎前歯部歯肉の口腔内写真（別冊午前 No. 28）を別に示す。
 外縁上皮はどれか。1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④



〔問題 78〕 幼稚園で4歳児を対象としたう蝕予防に関する健康教育を行うことになった。
 適切な教育内容はどれか。1つ選べ。
 a 歯磨剤の選択
 b うがいの重要性
 c う蝕の成り立ち
 d 磨き残しの確認

〔問題 79〕 56歳の男性。右側臼歯部の動揺と違和感を主訴として来院した。医療面接と検査の結果、慢性歯周炎と診断された。医療面接の内容で主訴と関連する生活習慣はどれか。2つ選べ。
 a ガムは毎食後噛んでいます。
 b コーヒーは1日3~4杯飲んでいます。
 c 歯磨きは1日1回、朝に行っています。
 d タバコは20歳から毎日1箱吸っています。

答え d
 × a 上顎右側犬歯唇側遠心面には# 1などを用いる。
 × b 下顎右側第二大臼歯頬側遠心面には# 14を用いる。
 × c 下顎左側第一大臼歯舌側中央部には# 7などを用いる。
 ○ d 写真を見ると下顎左側第一小臼歯頬側遠心面に対して操作しているので、グレーシータイプキュレットの# 13と考えられる。同じ器具で使用できるのは上顎左側第二小臼歯口蓋側遠心面である。

答え ad
 ○ a 6歳児では主に第一大臼歯や永久切歯へフッ化物歯面塗布を行う。したがって、中切歯に対するフッ化物歯面塗布の効果的な年齢といえる。
 × b 8歳児では主に永久切歯や第一小臼歯へフッ化物歯面塗布を行う。第二小臼歯は萌出していない。
 × c 10歳児では主に第一小臼歯や犬歯へフッ化物歯面塗布を行う。
 ○ d 12歳児では主に第二大臼歯や第二小臼歯へフッ化物歯面塗布を行う。したがって、第二大臼歯に対するフッ化物歯面塗布の効果的な年齢といえる。

答え a
 ○ a、× b、× c、× d 重度の歯周病では早産や低体重児出産のリスクが増加すると報告されている。白血病や急性肺炎、低アルカリホスファターゼ血症に対して重度の歯周病が影響するとは考えにくい。

答え d
 × a、× b、× c、○ d 外縁上皮とは辺縁歯肉や付着歯肉の表面を覆っている上皮であり、歯肉縁から歯肉歯槽粘膜境までの上皮であるため、④が正しい。

答え b
 × a、○ b、× c、× d 幼稚園でのう蝕予防に関する健康教育としては、歯みがきやうがいの重要性について説明するのが適切である。歯磨剤の選択やう蝕の成り立ち、磨き残しの確認は適切とはいえない。

答え cd
 × a、× b 歯の動揺と違和感を訴えているが、慢性歯周炎と診断されているため、ガムやコーヒーが関連するとは考えにくい。
 ○ c、○ d 主訴である歯の動揺と違和感は慢性歯周炎によるものと考えられ、1日1回の朝に行う歯磨き習慣や20歳から毎日1箱吸う喫煙習慣は主訴に関連すると思われる。

【問題 80】 76歳の男性。肺癌で入院中である。主治医から依頼があり、口腔衛生管理を行っている。化学療法を開始して2クール目が終了し、口腔内の疼痛が強いという。口腔内の写真（別冊午前 No. 29）を別に示す。

口腔粘膜の管理で使用するのはどれか。2つ選べ。

- a 口腔湿潤剤
- b 表面麻酔薬
- c フッ化物洗口剤
- d アルコール含有含嗽剤



【問題 81】 歯科診療所に来院した幼児に対して虐待を疑うのはどれか。1つ選べ。

- a 多動
- b 肥満
- c 不潔な服装
- d 歯科治療への恐怖心

【問題 82】 56歳の男性。6か月ごとのSPTにて来院した。特定健康診査でメタボリックシンドロームと指摘されたという。医療面接の結果を図に示す。

- ・外食の増加
- ・食事時間の短縮
- ・ブラッシング時に出血あり
- ・外食時のブラッシング不足
- ・前回来院時より体重増加(5kg)

面接結果から適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 欠食は避けましょう。
- b 意識して噛むようにしましょう。
- c アルコールの摂取を控えましょう。
- d ゆっくりと歩くようにしましょう。

【問題 83】 ある町の地域保健事業で高齢者の口腔機能低下予防への取組みを行った。

PDCAサイクルのうち、「A」に当てはまるのはどれか。1つ選べ。

- a 健康教育内容の修正
- b 口腔機能向上教室の開催
- c 住民の口腔機能の実態の把握
- d 口腔機能低下症予備群の人数の把握

【問題 84】 15歳の男子。歯肉の腫脹を主訴として来院した。てんかんの既往がある。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 30）を別に示す。

まず行うのはどれか。1つ選べ。

- a 服薬指導
- b 食生活指導
- c 口腔衛生指導
- d 生活習慣指導



答え ab

○a、○b、×d 化学療法による口腔粘膜炎に対する管理には口腔湿潤剤や表面麻酔薬が使用される。アルコール含有含嗽剤は刺激性があるため使用しない。

×c フッ化物洗口剤は虫歯予防に用いる。

答え c

×a、×b、○c、×d 不潔な服装の幼児が歯科診療所に来院した場合には虐待としてのネグレクトが疑われる。多動や肥満、歯科治療への恐怖心は虐待を疑うものではない。

答え ab

○a 外食が増加し、体重も増加しているため、不規則な食生活習慣が疑われる。欠食せずバランスよい食事を心掛けるよう指導するとよい。

○b 食事時間が短縮されているため、意識して噛むように指導するのは適切である。

×c メタボリックシンドロームではアルコールの摂取を控えることは重要であるが、この患者の医療面接の結果からアルコールの摂取が多いことは読み取れない。

×d メタボリックシンドロームでは、はや歩きをするよう指導するのがよい。

答え a

○a 健康教育内容の修正は、PDCAサイクルのうち、「A（改善）」に当てはまる。

×b 口腔機能向上教室の開催は、「D（実行）」に当てはまる。

×c、×d 口腔機能低下予防の地域保健事業を行うにあたり、地域住民の口腔機能の実態や口腔機能低下症予備群の人数を把握して計画（P）を作成するとよい。

答え c

×a、○c てんかんの既往があり、歯肉腫脹を訴えているため、抗てんかん薬による薬物性歯肉増殖が考えられる。薬物性歯肉増殖はブラークによる炎症が関与しており、まず口腔清掃指導を行うのがよい。医科で投与されている抗てんかん薬を歯科で休薬などを指示することは考えられない。

×b、×d 薬物性歯肉増殖が疑われる症例にまず食生活指導や生活習慣指導を行うとは考えられない。

【問題 85】 82歳の女性。義歯があわないことを主訴として家族と来院した。上下顎に部分床義歯を装着している。1年前に脳梗塞を発症し、右片麻痺がある。1日のほとんどをベッド上で過ごす。介助により車椅子に移乗し、家族と一緒に食事をとっているという。歯科医師から口腔衛生指導を行うよう指示を受けた。

口腔清掃の自立度の確認で最も注意が必要なのはどれか。1つ選べ。

- a うがいができるか。
- b 開口していただけるか。
- c 義歯の着脱ができるか。
- d 歯ブラシを把持できるか。

答え a

○a、×b、×c、×d 1年前に脳梗塞を発症し、右片麻痺がある患者であり、口腔清掃の自立度の確認において最も注意が必要なのは、うがいができるかどうかである。開口や義歯の着脱、歯ブラシの把持ができるかどうかは、最も注意が必要なこととはいえない。

【問題 86】 2型糖尿病との関連が深い疾患はどれか。2つ選べ。

- a 歯周病
- b 白板症
- c 扁平苔癬
- d 口腔乾燥症

答え ad

○a 歯周病と2型糖尿病は相互に影響を及ぼしており、関連が深いといえる。

×b、×c 白板症や扁平苔癬は2型糖尿病との関連が深いとは考えにくい。

○d 2型糖尿病では唾液分泌量減少が生じるため、口腔乾燥症と関連が深い。

【問題 87】 医療面接の写真（別冊午前 No. 31）を別に示す。歯科衛生士と患者の適切な位置関係はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え a

○a、×b、×c、×d 医療面接の際には、患者と同じ目線の高さになるようにし、前方位か側方位をキープし、体の向きを患者のほうに向け、対人距離に留意するとよい。したがって、歯科衛生士と患者の適切な位置関係は①が適切である。

【問題 88】 65歳の女性。乳癌で化学療法を受けている。悪心と口内炎により食事摂取が困難という。栄養サポートチーム（NST）で食生活指導を行うことになった。

食品の選択で避けるのはどれか。1つ選べ。

- a 栄養補助食品
- b 香辛料を含む食品
- c 高タンパク質食品
- d 流動性の高い食品

答え b

×a、○b、×c、×d 化学療法を受けており、悪心と口内炎により食事摂取が困難であるため、刺激性の強い香辛料を含む食品は避けたい。栄養補助食品や高タンパク質食品、流動性の高い食品を避けることはない。

【問題 89】 令和元年国民健康・栄養調査において、摂取量が減少傾向にあるのはどれか。2つ選べ。

- a 脂肪
- b 食塩
- c 食物繊維
- d タンパク質

答え bc

×a、○b、○c、×d 令和元年国民健康・栄養調査において、食塩や食物繊維の摂取量は減少傾向にある。脂肪やタンパク質の摂取量は減少傾向にない。

【問題 90】 エナメル質の形成に関与しているのはどれか。1つ選べ。

- a ビタミンA
- b ビタミンB₁
- c ビタミンC
- d ビタミンE

答え a

○a、×b、×c、×d エナメル質の形成に関与しているビタミンはビタミンAであり、摂取不足によりエナメル質形成不全のリスクがある。

【問題 91】 歯間分離器の写真（別冊午前 No. 32）を別に示す。他の器材とは異なる原理で歯間分離効果を発揮するのはどれか。1つ選べ。



答え c

×a ①はエリオットのセパレーターである。臼歯部に用いるくさび型の歯間分離器である。

×b ②はアイボリーのセパレーターである。前歯部に用いるくさび型の歯間分離器である。

○c ③はフェリアーのセパレーターである。使用する部位に制限のない牽引型の歯間分離器である。ネジを回す専用工具が必要である。

×d ④はウェッジ（木製）である。使用する部位に制限はない。歯間にウェッジをくさび状に挿入することによって、歯間分離を行う。

【問題 92】 二次救命処置はどれか。2つ選べ。


- a 気管挿管
- b 人工呼吸
- c 静脈路の確保
- d ハイムリック法

【問題 93】 逆流性食道炎と関連するのはどれか。2つ選べ。

- a 酸蝕症
- b 歯周炎
- c 嚥下障害
- d 再発性アフタ

【問題 94】 抜歯に用いられる器具とその先端の写真(別冊午前 No.33)を別に示す。

揺爬に用いるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
- 

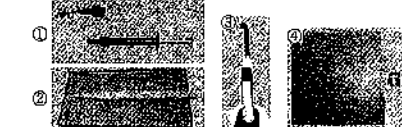
【問題 95】 46歳の男性。①上顎右側第一大臼歯の痛みを主訴として来院した。②昨夜から痛みが強くなり、眠れなかったという。5年前にも来院しており、③その時は下顎左側第三大臼歯を抜去している。④高血圧症で服薬していることがお薬手帳から確認された。

下線部分で現病歴はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④


【問題 96】 器材の写真(別冊午前 No.34)を別に示す。

無髄歯の漂白に使用するものはどれか。2つ選べ。

- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
- 


【問題 97】 上下顎全部床義歯製作中の口腔内写真(別冊午前 No.35A, B)を別に示す。

この時点で行われるのはどれか。2つ選べ。

- a 筋圧形成
 - b 人工歯の選択
 - c 顎間関係の記録
 - d ろう義歯の試演
- 

【問題 98】 カートリッジ式注射器の写真(別冊午前 No.36)を別に示す。

矢印で示す部分の目的はどれか。1つ選べ。

- a 吸引操作
 - b 強圧での注入
 - c 注入量の規制
 - d 注入速度の調整
- 

答え ac

- a、○c 気管挿管や静脈路の確保は、有資格者による病院などで行われる処置なので二次救命処置である。
- ×b 人工呼吸、気道確保は一次救命処置である。
- ×d ハイムリック法は意識のある傷病者に行われる気道の異物除去法である。

答え ac

- a 逆流性食道炎による嘔吐によって、歯の酸蝕症が生じることがある。
- ×b 歯周炎と逆流性食道炎には関連性がない。
- c 逆流性食道炎があると、食道炎による疼痛で嚥下障害が生じることがある。
- ×d 再発性アフタと逆流性食道炎には関連性がない。

答え a

- a ①は鋭匙である。不良肉芽組織の揺爬に用いる。
- ×b ②は骨ノミである。骨隆起の除去に用いる。
- ×c ③はエレベーターである。歯の脱臼、抜歯に用いる。
- ×d ④は骨ヤスリである。骨鋭縁部の平滑化に用いる。

答え b

- ×a ①は「痛み」なので主訴である。
- b ②は「昨夜から痛みが強くなり、眠れなかった」という症状の始まりから現時点までの経過なので現病歴である。
- ×c ③の「5年前に下顎左側第三大臼歯を抜去している」は歯科的既往歴である。
- ×d ④の「高血圧症」は全身の既往歴である。

答え bd

- ×a ①は有髄歯の漂白(オフィスブリーチ法)で用いる専用の歯肉保護材である。
- b ②はガラス練板とプラスチックパチュラである。無髄歯の漂白にはウォーキングブリーチ法を行う。ガラス練板上で高濃度過酸化水素水と過ホウ酸ナトリウムを練和する。
- ×c ③はLED光照射器である。光重合コンポジットレジン充填時の重合に使用する。
- d ④はクランプとラバーダムシートである。ウォーキングブリーチ法ではラバーダム防湿後、漂白剤を髄腔内に注入する。


答え bc

- ×a 筋圧形成は精密印象採得時に行う。
- b、○c 写真は上下顎の咬合床を用いて咬合採得を行っているところである。上下顎全部床義歯の咬合採得時には、顎間関係の記録後、前歯部人工歯の選択を行う。
- ×d ろう義歯の試演は人工歯排列後に行う。

答え a

- a 写真は伝達麻酔用のカートリッジ式注射器である。楕円で囲まれた矢印で示す部分はプランジャー(内筒)の先端でモリ状になっており、カートリッジのゴム部分に食い込む。一方の矢印はプランジャーの親指をかける部分でリング状になっている。どちらも、吸引操作を可能にするための構造である。
- ×b そもそも麻酔薬を強圧で注入することはない。
- ×c 注入量を規制するような構造にはなっていない。
- ×d 注入速度の調整は術者の手指で行う。

【問題 99】 口内法エックス線画像(別冊午前 No.37)を別に示す。

- この撮影法の特徴はどれか。1つ選べ。
 - a 正放線投影する。
 - b ロングコーンを用いて撮影する。
 - c フィルムを咬んだ状態で撮影する。
 - d 臼歯部咬合平面に対して下方から撮影する。
- 

答え a

- a エックス線画像は咬翼法である。水平的角度設定では正放線投影する。
- ×b ロングコーンを用いて撮影するのは平行法撮影である。
- ×c フィルムではなく、咬翼部を咬んだ状態で撮影する。
- ×d 垂直的的角度設定では臼歯部咬合平面に対してやや上方(5~10°)から撮影する。

【問題 100】 共同動作時の写真(別冊午前 No.38)を別に示す。

器材の受け渡しで正しいのはどれか。2つ選べ。


- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
- 

答え cd

- ×a ①のハサミはハサミ持ち状の手に受け渡す。
- ×b ②のリーマー類は格納箱ごと術者に差し出し直接つまんでもらう。
- c ③のピンセットやデンタルミラーなどの器具は執筆状の手(ペングリップ)に受け渡す。
- d ④のガックパーチャポイントが練板上に置いて術者にピンセットで直接把持してもらう。

【問題 101】 72歳の男性。上顎右側第二大臼歯に全部金属冠を装着することになった。完成した全部金属冠の写真(別冊午前 No.39A)と使用する器材の写真(別冊午前 No.39B)を別に示す。

最初に用いるのはどれか。1つ選べ。


- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
- 

答え a

- a、×b、×c、×d 全部金属冠の調整は、以下の手順で行う。
- 1) 隣接面接触関係の調整
コンタクトゲージ(①)、カーボランダムポイント
- 2) マージンの適合診査: 探針
- 3) クラウン内面の適合診査、調整
適合検査材、カーボランダムポイント
- 4) 咬合診査、調整: 咬合紙、咬合紙ホルダー(②)
- 5) 研磨: シリコンポイント(④)
- 6) 合着: セメント(③)
- 最初に用いるのは、①のコンタクトゲージである。

【問題 102】 矯正歯科治療時の模型の写真(別冊午前 No.40A)とブライヤーの写真(別冊午前 No.40B)を別に示す。

この操作の後に使用するものはどれか。1つ選べ。

- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④
- 

答え d

- ×a ①はバンドリムービングブライヤーである。矯正用バンド(帯環)の撤去に用いる。
- ×b ②はヤングブライヤーである。直径0.6~1.0mmの太いワイヤーや補助弾線の屈曲に用いる。
- ×c ③はツイードアーチベンディングブライヤーである。アーチワイヤーやレクトアンギュラーワイヤー(角線)の屈曲に用いる。
- d ④はレジンリムーバー(ボンディング材撤去ブライヤー)である。写真Aの操作とは、ブラケットリムービングブライヤーを用いたブラケットの撤去である。ブラケット撤去後は、④のレジンリムーバーでボンディング材を撤去する。

【問題 103】 27歳の男性。上顎右側第二大臼歯全部金属冠製作のための精密印象採得が行われた。印象体を60秒間流水下で洗浄し、1.0%次亜塩素酸ナトリウム溶液に15分間浸漬した。さらに30分ほど待ってから石膏の注入を行った。

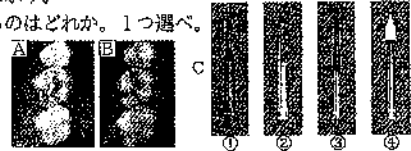
使用したのはどれか。1つ選べ。

- a 寒天印象材
- b モデリングコンパウンド
- c 酸化亜鉛ユージノール印象材
- d 付加型シリコーンゴム印象材

答え d

- ×a 寒天印象材は寒天アルジネート連合印象で用いる。寒天アルジネート連合印象は、クラウンやブリッジの印象採得で行われるが、経時変化が大きいので、印象採得後、直ちに石膏を注入する必要がある。
- ×b、×c モデリングコンパウンドと酸化亜鉛ユージノール印象材は非弾性印象材のため、全部金属冠製作のための精密印象採得には用いない。
- d 付加型シリコーンゴム印象材は経時変化が少なく、クラウン、ブリッジ、義歯のいずれの印象採得にも使用できる。印象採得直後に石膏を注入すると、印象体表面から水蒸気ガスが発生するため、模型表面に微細な気泡が生じる。そこで、30~60分後に石膏を注入して、模型表面の気泡発生を防止する。

【問題 104】 26 歳の男性。上顎左側第一大臼歯が水にしみることを主訴として来院した。検査の結果、修復物下の象牙質う蝕と診断され、コンポジットレジン修復が行われることになった。まず、修復物を除去して、う蝕検知液で感染象牙質を染色することになった。初診時の口腔内写真（別冊午前 No. 41A）、修復物除去後の口腔内写真（別冊午前 No. 41B）および器具の写真（別冊午前 No. 41C）を別に示す。



- 次に準備するのはどれか。1つ選べ。
- a ①
 - b ②
 - c ③
 - d ④

【問題 105】 75 歳の男性。加齢による聴覚機能の低下がみられ、「声は聞こえるが、話の内容が聞き取りづらい。」と訴えがあった。この患者への医療面接で適切なのはどれか。1つ選べ。

- a 高い声で話す。
- b 一問一答で行う。
- c 大きな声で話す。
- d 文字盤を使用する。

【問題 106】 摂食嚥下のプロセスモデルにおいて、食塊の一部が嚥下前に中咽頭部に送り込まれる時期はどれか。1つ選べ。

- a 咽頭期
- b 食道期
- c 第1期輸送 (Stage I transport)
- d 第2期輸送 (Stage II transport)

【問題 107】 73 歳の男性。摂食嚥下困難を主訴として来院した。嚥下訓練を行っている写真（別冊午前 No. 42）を別に示す。改善が期待できるのはどれか。

2つ選べ。

- a 誤嚥
- b 咽頭残留
- c 口腔内残留
- d 嚥下反射遅延



【問題 108】 55 歳の男性。定期歯科健康診査のため来院した。その後、飲み込みづらさと話しづらさを訴えたので、口腔内観察を行った。舌の写真（別冊午前 No. 43）を別に示す。

これらの症状を特徴とするのはどれか。

1つ選べ。

- a Sjögren 症候群
- b 再生不良性貧血
- c 慢性関節リウマチ
- d 筋萎縮性側索硬化症



答え b

- × a ①はスチール製テーパードフィッシャーバーである。窩洞形成や修正に用いる。
- b ②はスチール製ラウンドバーである。う蝕象牙質の除去や髓腔穿孔に用いる。感染象牙質の染色後に準備するのは、②のラウンドバーである。
- × c ③は FG 用ダイヤモンドポイントである。窩洞形成や支台歯形成時に用いる。
- × d ④はホワイトポイントである。コンポジットレジンやガラスイオノマーセメントの形態修正、咬合調整、研磨などに用いる。

答え b

- × a 加齢による聴覚機能の低下がみられることから感音性難聴と考えられる。低音域の聴力は比較的保たれるが、高音域の聴力は低下しているため、高い声で話すのは適切でない。
- b 「声は聞こえるが、話の内容が聞き取りづらい」との訴えがあるため、聴覚情報の中枢処理の遅延が考えられる。そのため、医療面接を一問一答で行うのは適切である。
- × c 声は聞こえているため、大きな声で話す必要はない。
- × d 声は聞こえているため、文字盤を使用する必要はない。

答え d

- × a 従来の嚥下モデルの咽頭期（嚥下反射の時期）は、プロセスモデルでも咽頭期とよぶ。
- × b 従来の嚥下モデルの食道期（食道に入った食塊が胃へ移送される時期）は、プロセスモデルでも食道期とよぶ。
- × c 従来の摂食嚥下の過程（先行期→準備期→口腔期→咽頭期→食道期）は液体の命令嚥下モデルで、各期が重複することなく続いている。一方、咀嚼された食物の咀嚼嚥下では液体の命令嚥下モデルと異なり、咀嚼期でも一部の食塊はすでに咽頭部へ移送されているため、新しく提唱されたのが「プロセスモデル」である。食物を口に挿入して臼歯部に移送するまでの時期をプロセスモデルにおいては第1期輸送 (Stage I transport) とよぶ。
- d 食塊の一部が嚥下前に中咽頭部に送り込まれる時期をプロセスモデルにおいては第2期輸送 (Stage II transport) とよぶ。

答え a b

- a、○ b 写真は摂食嚥下訓練の中の開口訓練を行っているところである。口を最大限にして10秒保持する。これを1日10回行う。嚥下反射惹起、舌骨挙上量、咽頭通過時間、咽頭残留、誤嚥などに改善がみられる。
- × c 口腔内残留の改善には舌訓練などの嚥下訓練を行う。
- × d 嚥下反射遅延の改善には、冷圧刺激法、アイスマッサージなどの嚥下訓練を行う。

答え d

- × a、× c Sjögren 症候群では、口腔乾燥、乾燥性角膜炎、慢性関節リウマチ、多発性う蝕、耳下腺の腫脹などがみられる。
- × b 再生不良性貧血では、歯肉出血、発熱、粘膜の出血斑・潰瘍・壊死などがみられる。
- d 筋萎縮性側索硬化症 (ALS) では、顔面筋の固有反射が亢進し、写真のように舌を突出させたり、口腔機能低下により唾液嚥下が困難となるため、流涎がみられる。

【問題 109】 87 歳の女性。家族から、「最近食べこぼしが多く、食後しばらくするとむせていたり、喉がすっぱい感じがすると訴える。」との相談を受けた。3年前に左側大脳半球の脳梗塞を発症し、右片麻痺の後遺症があるが、体性感覚や味覚には異常はない。家族が食事介助を行っている。

家族への適切な指導内容はどれか。2つ選べ。

- a 複数回嚥下を促す。
- b 患者の右側から介助する。
- c 唇の閉鎖を指で介助する。
- d 食後はすぐに横臥位にする。

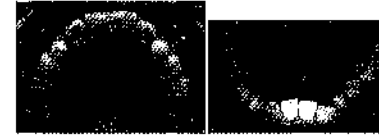
答え a c

- a 左側大脳半球の脳梗塞を発症し、「食後しばらくするとむせている」とのことなので、嚥下障害があると考えられる。複数回嚥下を促すのは適切である。
- × b 右片麻痺の後遺症があるため、患者の左側から介助する。
- c 「最近食べこぼしが多い」とのことなので、唇の閉鎖を指で介助するのは適切である。
- × d 「喉がすっぱい感じがする」と訴えているため、逆流性食道炎が疑われる。食後すぐに横臥位になると、胃酸が逆流する恐れがあるので、適切ではない。

【問題 110】 8 歳の男児。定期歯科健康診査のため来院した。来院時の口腔内写真（別冊午前 No. 44）を別に示す。

Hellmann の歯齢はどれか。1つ選べ。

- a II A
- b III A
- c III B
- d IV A



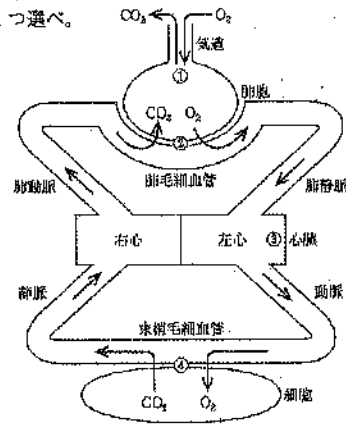
答え b

- × a II A は乳歯咬合完成期 (3~5 歳) である。
- b III A は第一大臼歯萌出完了あるいは前歯萌出中または萌出完了期 (7~9 歳) である。口腔内写真で第一大臼歯は萌出完了しており、前歯は萌出中 (犬歯は未萌出) のため、Hellmann の歯齢は III A である。
- × c III B は側方歯群交換期 (9~11 歳) である。
- × d IV A は第二大臼歯萌出完了期 (13~17 歳) である。

33-B 午後問題解説

【問題 1】 体内での酸素と二酸化炭素の運搬を模式図に示す。内呼吸はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



【問題 2】 嚥下時、鼻咽腔閉鎖に最も役立つのはどれか。1つ選べ。

- a 側頭筋
- b 茎突舌筋
- c 口蓋帆挙筋
- d 耳管咽頭筋

【問題 3】 消化時に胃で生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 総蠕動
- b 振り運動
- c 分節運動
- d 受け入れ弛緩

【問題 4】 唾液に含まれる鉄結合性タンパク質はどれか。1つ選べ。

- a ムチン
- b アミラーゼ
- c グロブリン
- d ラクトフェリン

【問題 5】 下顎骨内面の写真の一部(別冊午後 No. 1)を別に示す。矢印で示す孔から下顎骨内部に進入するのはどれか。1つ選べ。

- a 咬筋動脈
- b 舌下動脈
- c 下歯槽動脈
- d 後上歯槽動脈



答え d

- × a ①は換気である。気道を介して外界の空気と置換する。
- × b ②は外呼吸である。肺の中でO₂とCO₂の移動(ガス交換)が行われる。
- × c ③は循環である。心臓ではポンプのように血液の流入と流出が行われる。
- d ④は内呼吸である。外呼吸によって血液中に取り入れられたO₂は、血管から組織液中に移動し、細胞内に達する。細胞から組織液中に出たCO₂は、血管内の血液にとけ込み、肺に送られる。この過程を内呼吸(細胞呼吸)という。

答え c

- × a 側頭筋は咀嚼筋の1つで、咀嚼時に役立つ。
- × b 茎突舌筋は外舌筋の1つで、舌の位置を変えるのに役立つ。
- c 口蓋帆挙筋、上咽頭収縮筋は嚥下時の鼻咽腔閉鎖に役立つ。
- × d 耳管咽頭筋は嚥下中に咽頭と喉頭を持ち上げて、嚥下時の耳管閉口に役立つ。

答え d

- × a 総蠕動とは横行結腸からS状結腸にかけて生じる胃・結腸反射による運動で、蠕動運動とは異なる。総蠕動は大腸で1日に1~2回生じる。
- × b 振り運動とは縦走筋が収縮と弛緩を周期的に繰り返す運動である。振り運動は小腸で生じる。
- × c 分節運動とは輪走筋が断続的な収縮により、くびれが生じ、腸管が分節ごとに収縮と弛緩を繰り返す運動である。分節運動は小腸で生じる。
- d 受け入れ弛緩とは、胃に食物が入ることによって反射的に胃が弛緩する現象で、消化時に胃で生じる。同時に胃液の分泌が始まり、その後に蠕動運動が生じる。

答え d

- × a ムチンは唾液に含まれる糖タンパクで、粘膜保護および歯質保護作用を有する。
- × b アミラーゼはでんぷんを分解する唾液中の消化酵素である。
- × c グロブリンは血清タンパクの1つで、抗菌作用を有する。
- d ラクトフェリンはタンパク質で、鉄結合能を有する唾液中の抗菌物質である。

答え c

- × a、○ c、× d 咬筋動脈、下歯槽動脈、後上歯槽動脈は、いずれも外頸動脈から分岐する顎動脈の枝である。矢印で示す下顎孔から下顎骨内部に進入するのは、下歯槽動脈である。
- × b 舌下動脈は外頸動脈から分岐する舌動脈の枝である。

【問題 6】 嘔吐に伴う生体反応はどれか。1つ選べ。

- a 発汗
- b 顔面紅潮
- c 瞳孔縮小
- d 唾液分泌抑制

【問題 7】 新産線がみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 側切歯
- b 犬歯
- c 第二小臼歯
- d 第一大臼歯

【問題 8】 口腔乾燥症を生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 天疱瘡
- b 白板症
- c 口腔扁平苔癬
- d Sjögren 症候群

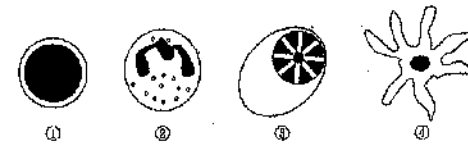
【問題 9】 口腔細菌のグラム染色像の模式図(別冊午後 No. 2)を別に示す。

Porphyromonas gingivalis はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



【問題 10】 炎症に関する細胞の模式図を示す。



急性化膿性歯髄炎の主体をなすのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 11】 アムホテリシンBが有効なのはどれか。1つ選べ。

- a 頭頸部癌
- b 抜歯後疼痛
- c 口腔カンジダ症
- d ヘルペス性口内炎

答え a

- a、× b、× d 嘔吐に伴う自律神経症状には、唾液分泌亢進、発汗、顔面蒼白、めまい、徐脈、頻脈、血圧低下などがある。
- × c 瞳孔の変化は嘔吐に伴う生体反応ではない。

答え d

- × a、× b、× c 第一大臼歯以外の永久歯(側切歯、犬歯、第二小臼歯など)には新産線はみられない。
- d エナメル質および象牙質を含めた歯質の成長線の中で、出生時の急激な環境変化による石灰化度が著しく低い成長線を新産線という。新産線の形成は出生前に石灰化が開始している歯(すべての乳歯と第一大臼歯)にみられる。

答え d

- × a 天疱瘡は頬粘膜、舌、歯肉に上皮内水疱を形成する自己免疫疾患である。接触痛があり、擦過すると容易に剥離して水疱を生じる所見(ニコルスキー現象)がみられる。
- × b 白板症は頬粘膜、舌、歯肉に生じる白色の板状または斑状の角化性病変である。口腔潜在的悪性疾患の1つである。疼痛はほとんどなく、擦過しても除去できない。
- × c 口腔扁平苔癬は頬粘膜に両側性に発症することが多く、口唇、舌、歯肉にも生じる。自発痛や接触痛があり、レース状の白色病変で、擦過しても除去できない。
- d Sjögren 症候群は口腔乾燥、乾燥性角膜炎、関節リウマチを主症状として疾患である。更年期の女性に多く、耳下腺の腫脹がみられる。

答え b

- × a ①は青色なのでグラム陽性菌である。ブドウの房状の形態からブドウ球菌を示している。
- b ②は赤色なのでグラム陰性菌である。円筒状の形態から桿菌を示している。グラム陰性桿菌の *Porphyromonas gingivalis* は②である。
- × c ③は赤色なのでグラム陰性菌である。らせん状の形態からスピロヘータを示している。
- × d ④は青色なのでグラム陽性菌である。連鎖状の形態からレンサ球菌を示している。

答え b

- × a ①はリンパ球で、慢性炎症で多くみられる。
- b ②は好中球である。核は図のように分葉を示す。急性化膿性炎では好中球の滲出がみられるのが特徴である。
- × c ③は形質細胞で、慢性炎症で多くみられる。図のように核は偏在し、車軸核とよばれる。形質細胞はBリンパ球が分化成熟した細胞で、抗体を産生する。
- × d ④は樹状細胞である。樹状細胞、B細胞、マクロファージは抗原提示細胞である。

答え c

- × a 頭頸部癌には抗悪性腫瘍薬(抗がん剤)が有効である。
- × b 抜歯後疼痛には酸性非ステロイド性抗炎症薬(消炎鎮痛薬)が有効である。
- c 口腔カンジダ症には抗真菌薬(アムホテリシンB、ミコナゾール)が有効である。
- × d ヘルペス性口内炎には抗ウイルス薬であるアシクロビルが有効である。

【問題 12】薬物による副作用の一部を表に示す。

	①	②	③	④
出血傾向	○	○	○	
喘息発作誘発	○	○		
Reye 症候群発症	○			

○：副作用あり

①はどれか。1つ選べ。

ただし、①～④はa～dのいずれかに該当する。

- a アスピリン b ジアゼパム
c アセトアミノフェン d ワルファリンカリウム

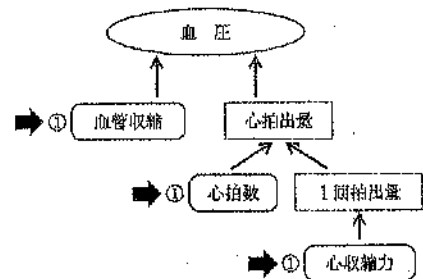
【問題 13】子宮頸がんの病原体はどれか。1つ選べ。

- a ムンプスウイルス
b コクサッキーウイルス
c 単純ヘルペスウイルス
d ヒトパピローマウイルス

【問題 14】先天性梅毒でみられるのはどれか。1つ選べ。

- a 双生歯
b 斑状歯
c Turner (ターナー) 歯
d Hutchinson (ハッチンソン) 歯

【問題 15】血圧を決定する因子の一部を図に示す。



矢印(⇒①)で示す因子が亢進して、血圧を上昇させるのはどれか。1つ選べ。

- a ヒスタミン b アドレナリン
c アセチルコリン d GABA (γ-アミノ酪酸)

【問題 16】精神保健福祉センターを設置できるのはどれか。2つ選べ。

- a 指定都市
b 都道府県
c 厚生労働省
d 全国健康保険協会

答え a

- a アスピリンの副作用は出血傾向、喘息発作誘発、Reye 症候群発症なので①である。
×b ジアゼパムの副作用は口腔乾燥で、出血傾向、喘息発作誘発、Reye 症候群発症などはない。
×c アセトアミノフェンの副作用は出血傾向、喘息発作誘発なので②である。
×d ワルファリンカリウムの副作用は出血傾向なので③である。

答え d

- ×a ムンプスウイルスは流行性耳下腺炎の病原体である。
×b コクサッキーウイルス A16 は手足口病、コクサッキーウイルス A4 はヘルパンギーナの病原体である。
×c 単純ヘルペスウイルスは単純疱疹の病原体である。
○d ヒトパピローマウイルスは子宮頸がんの病原体である。

答え d

- ×a 双生歯は1つの歯胚が分裂して、不完全な2つの歯を形成した場合の歯である。
×b 斑状歯(歯のフッ素症)はフッ素過剰摂取が原因で生じるエナメル質形成不全歯である。
×c Turner (ターナー) 歯は乳歯の根尖病変によって後継永久歯の歯冠に生じるエナメル質減形成歯である。
○d Hutchinson (ハッチンソン) 歯は先天性梅毒でみられる切端が半月状に欠損している切歯である。

答え b

- ×a ヒスタミンは炎症のケミカルメディエーターで、血管拡張、気管支収縮作用を示す。
○b アドレナリンはカテコールアミンで、①で示すように血管収縮作用、心機能亢進作用(心拍数増加、心収縮力)によって血圧を上昇させる。
×c アセチルコリンは興奮性神経伝達物質で、運動神経の神経筋接合部、交感神経および副交感神経の節前線維終末、副交感神経の節後線維終末などのシナプスで放出され、機能する。神経筋接合部では筋収縮作用を示し、自律神経(交感神経と副交感神経)では、徐脈、発汗作用などがある。
×d GABA (γ-アミノ酪酸)は中枢神経系の抑制性神経伝達物質で、抗不安作用、催眠作用、血圧低下作用などがある。

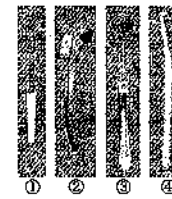
答え a b

- a、○b 精神保健福祉センターは精神保健福祉法で規定され、設置主体は指定都市と都道府県である。業務は保健所への技術指導、技術支援、職員への教育研修、精神保健福祉相談などである。
×c 厚生労働省は精神保健と精神障害者福祉に関連する法律や政策の策定・実施を行う。
×d 全国健康保険協会(協会けんぽ)とは、国内最大規模の健康保険事業者のことである。加入者は主に中小企業の従業員とその被扶養者である。

【問題 17】口腔清掃用具の写真(別冊午後 No. 3)を別に示す。

清掃用具と使用目的の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ①——義歯清掃
b ②——口腔粘膜清掃
c ③——舌苔除去
d ④——最後臼歯遠心面の清掃

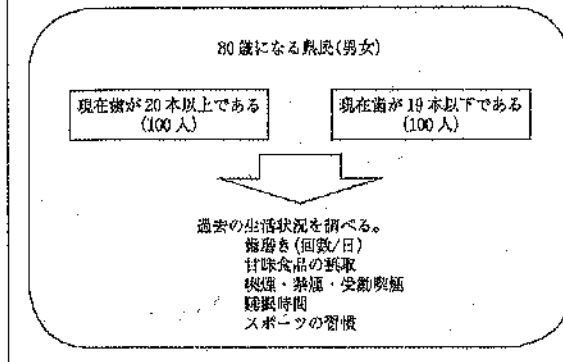


答え c d

- ×a ①は歯間ブラシで歯間部の清掃に用いる。
×b ②は義歯用ブラシで義歯清掃に用いる。口腔粘膜清掃にはスポンジブラシを用いる。
○c ③は舌ブラシで舌苔除去に用いる。
○d ④はエンドタフトブラシで、最後臼歯遠心面、叢生歯の唇面、萌出途中の咬合面、ポンティック基底面などの清掃に用いる。

次の文を読み、【問題 18】、【問題 19】に答えよ。

A県の健康増進課が80歳になる県民を対象として調査を行うことになり、歯科衛生士会に協力依頼があった。調査計画の概要を図に示す。



【問題 18】この調査に用いる研究方法はどれか。1つ選べ。

- a 地域研究
b 症例対照研究
c 生態学的研究
d ランダム化比較試験

答え b

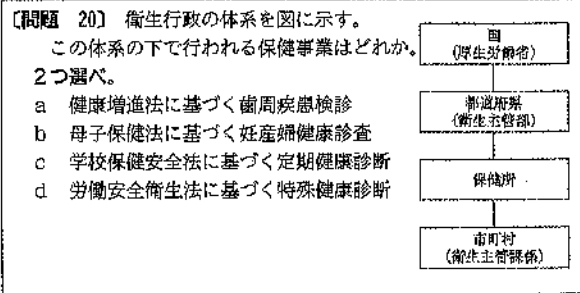
- ×a 地域研究(地域試験)は介入疫学の1つで、水道水フロリデーションの有無によるう蝕予防効果の研究のように、地域単位でリスク因子に介入を行う方法である。
○b 症例対照研究(患者対照研究)は分析疫学の1つで、患者群(現在歯が19本以下)と対照群(現在歯が20本以上)の2群を設定し、過去の曝露(過去の生活状況)による疾患への影響を検討する方法である。本問の調査に用いるのは、症例対照研究である。
×c 生態学的研究は分析疫学の1つで、集団単位(国、都道府県、市町村、学校など)を分析対象として、集団間での要因と疾病の関連を検討する方法である。
×d ランダム化比較試験(無作為化比較試験)は介入疫学の1つで、対象者を介入群と対照群に無作為に割り付けし、介入効果を判定する方法である。最もエビデンスの質が高い。

【問題 19】この研究方法から算出できるのはどれか。1つ選べ。

- a 罹患率
b オッズ比
c 寄与危険度
d 相対危険度

答え b

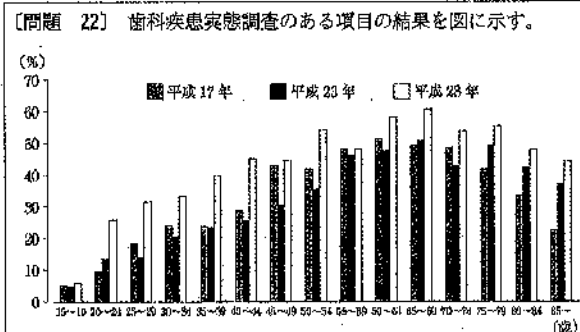
- ×a 罹患率はコホート研究では算出できるが、症例対照研究では算出できない。
○b 相対危険度の推定値であるオッズ比は、症例対照研究でも算出できる。
×c 寄与危険度は罹患率より求められるので、コホート研究では算出できるが、症例対照研究では算出できない。
×d 相対危険度は罹患率より求められるので、コホート研究では算出できるが、症例対照研究では算出できない。



- 答え a b
- a 健康増進法に基づく歯周疾患検診は、国（厚生労働省）→都道府県→保健所→市町村といった衛生行政体系の下で行われる保健事業である。
 - b 母子保健法に基づく妊産婦健康診査は、国（厚生労働省）→都道府県→保健所→市町村といった衛生行政体系の下で行われる保健事業である。
 - × c 学校保健安全法に基づく定期健康診断は、国（文部科学省）→都道府県→市町村教育委員会→学校といった衛生行政体系の下で行われる保健事業である。
 - × d 労働安全衛生法に基づく特殊健康診断は、国（厚生労働省）→都道府県厚生労働局→労働基準監督署→事業者といった衛生行政体系の下で行われる保健事業である。

- 【問題 21】 洗口により除去できるのはどれか。1つ選べ。
- a スティン
 - b プラーク
 - c ペリクル
 - d マテリアアルバ

- 答え d
- × a スティンは歯面研磨により除去できる。
 - × b プラークはブラッシングにより除去できる。
 - × c ペリクルは歯面研磨により除去できる。
 - d 洗口により除去できるのは、マテリアアルバと食物残渣である。



- 答え c
- × a 喪失歯を有する者の割合は高齢になるにつれて増加する。
 - × b 20歯以上の現在歯を有する者の割合は15～49歳でほぼ100%である。
 - c 図が示すのは、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合で、65～69歳が最大であり、その後は年齢の増加に伴い、残存歯も減少するため、4mm以上の歯周ポケットを有する者の割合も減少傾向にある。
 - × d 永久歯の未処置歯または処置歯を保有する者の割合は、35～64歳でほぼ100%である。

- 【問題 23】 口臭の原因物質で硫黄を含むのはどれか。1つ選べ。
- a アセトン
 - b インドール
 - c メチルアミン
 - d メチルメルカプタン

- 答え d
- × a アセトン、アルコールは口臭の原因物質で炭水化物分解産物である。
 - × b インドールは口臭の原因物質でタンパク質分解産物である。
 - × c メチルアミンは口臭の原因物質でタンパク質分解産物である。
 - d メチルメルカプタン、ジメチルサルファイドは口臭の原因物質で揮発性硫化物である。

- 【問題 24】 トータルヘルスプロモーションプラン (THP) における歯科衛生士の役割はどれか。1つ選べ。
- a 過重労働解消の推進
 - b ストレスチェックの実施
 - c 運動指導プログラムの作成
 - d 勤務形態に配慮した口腔保健指導

- 答え d
- × a 過重労働解消の推進は、事業者および労働者のみならず、法改正も踏まえた政府、厚生労働省、社会全体の課題でもある。
 - × b ストレスチェックの実施は産業医の業務である。
 - × c 運動指導プログラムの作成は、健康測定の結果と産業医の指導票をもとに運動指導担当者が行う。
 - d 勤務形態に配慮した口腔保健指導は産業歯科医と歯科衛生士の役割である。

【問題 25】 13歳の女子、学校における定期健康診断（歯・口腔）の結果の一部を図に示す。

歯列咬合	歯肉の状態	歯垢の状態	歯周ポケット	歯質の状態	歯槽膿漏	歯肉の付着	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	歯肉の性状	
0	0	0	8	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8				
1	1	1	上																		上
			右																		左
			F																		F
2	2	2	8	6	5	4	3	2	1	1	2	3	4	5	6	7	8				
			CO																		O

事後措置として適切なのはどれか。2つ選べ。

- a う蝕の治療
- b スケーリング
- c フッ化物歯面塗布
- d ブラッシング指導

- 答え c d
- × a 歯の歯式に「C：う蝕」はないので、う蝕の治療は必要ない。
 - × b 歯肉の状態が「2：精密検査や診断・治療が必要な歯周疾患が認められる者で、歯石沈着を伴う歯肉炎の者」の場合には、スケーリングを行う。
 - c 歯の歯式に「CO：要観察歯」があるので、事後措置としてフッ化物歯面塗布を行うのは適切である。
 - d 歯垢の状態が「1：若干の付着」で、歯肉の状態が「1：歯垢の付着があり、軽度の歯肉炎がみられるが、歯石沈着はない」なので、事後措置としてブラッシング指導を行うのは適切である。

- 【問題 26】 南・中央アジアで口腔癌の有病率が高い原因はどれか。1つ選べ。
- a 飲料水
 - b マラリア
 - c かみタバコ
 - d 年間日照時間

- 答え c
- × a 飲料水と口腔癌の有病率に因果関係はない。
 - × b マラリアは、アフリカやアジア、中南米の熱帯・亜熱帯地域を中心に発生し、世界3大感染症（エイズ・結核・マラリア）の1つである。蚊を媒介動物として感染するが、口腔癌の有病率とは因果関係がない。
 - c かみタバコとは、頬と歯肉あるいは上唇と歯の間にタバコの一部を挟んで、噛むことによって摂取する無煙タバコの種類である。南・中央アジアでは、かみタバコを用いる習慣があり、この地域で口腔癌の有病率が高い原因とされている。
 - × d 年間日照時間は口腔癌ではなく、皮膚癌の有病率が高くなる原因とされている。

【問題 27】 CPI (2013年、WHO) による診査の様子を模式図に示す。
歯周ポケットスコアはどれか。1つ選べ。

- a 0
- b 1
- c 2
- d 9

- 答え c
- × a、× b、× c、× d CPI (2013年、WHO) の歯周ポケットスコアの評価基準は以下のとおりである。
 - ・スコア0：所見なし
 - ・スコア1：歯周ポケット4～5mm
 - ・スコア2：歯周ポケット6mm以上
 - 図中の歯周ポケットは8mmなので、歯周ポケットスコアは「2」である。

- 【問題 28】 Leavell & Clarkの予防の3相5段階における歯周病の特異的予防はどれか。1つ選べ。
- a 禁煙指導
 - b 歯科検診
 - c 機械的歯面清掃
 - d スケーリング・ルートプレーニング

- 答え c
- × a 禁煙指導は歯周病における第一次予防の健康増進に該当する。
 - × b 歯科検診は歯周病における第二次予防の早期発見・即時処置に該当する。
 - c 機械的歯面清掃は歯周病における第一次予防の特異的予防に該当する。
 - × d スケーリング・ルートプレーニングは歯周病における第二次予防の早期発見・即時処置に該当する。

【問題 29】 小児期の歯の形成と萌出の過程を図に示す。

定型発達児の3歳はどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

- 答え c
- × a ①は定型発達児の1歳6か月である。
 - × b ②は定型発達児の2歳である。
 - c ③は定型発達児の3歳である。
 - × d ④は定型発達児の6歳である。

【問題 30】 洗口剤の基本成分はどれか。2つ選べ。

- a グリセリン
- b 無水ケイ酸
- c キシリトール
- d アルギン酸ナトリウム

答え a c

- a グリセリンは湿潤剤で、洗口剤および歯磨剤の基本成分である。
- ×b 無水ケイ酸は研磨剤で、洗口剤には含まれない歯磨剤の基本成分である。
- c キシリトールは香味剤で、洗口剤および歯磨剤の基本成分である。
- ×d アルギン酸ナトリウムは粘結剤で、洗口剤には含まれない歯磨剤の基本成分である。

【問題 31】 標準予防策に含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 滅菌手袋の使用
- b 歯面清掃時のゴーグル装着
- c クリーンルームでの歯科治療
- d スクラブと流水による手洗いの実施

答え b d

- ×a 滅菌の手袋（グローブ）の使用は標準予防策に含まれる。
- b 歯面清掃時のゴーグル装着は標準予防策に含まれる。
- ×c クリーンルームでの歯科治療は感染症患者に限定される。
- d スクラブと流水による手洗いの実施は標準予防策に含まれる。

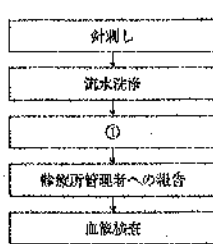
【問題 32】 地域包括ケアシステムにおける5つの視点での取組みに含まれるのはどれか。2つ選べ。

- a 教育
- b 就労
- c 予防
- d 生活支援

答え c d

- ×a、×b 地域包括ケアシステムは高齢者が対象なので、教育と就労は地域包括ケアシステムにおける取組みには含まれない。
- c、○d 地域包括ケアシステムにおける5つの視点とは、医療、介護、予防、すまい、生活支援である。

【問題 33】 歯科診療所において診療中に針刺し事故を起こした際の対応を図に示す。



①で適切なものはどれか。1つ選べ。

- a 抗菌薬の塗布
- b オキシドールでの洗浄
- c ポビドンヨードでの消毒
- d インシデントレポートの作成

答え c

- ×a、×b、○c 針刺し事故を起こした際は、直ちに大量の流水と石けんで洗浄し、10%ポビドンヨードで消毒する。
- ×d 針刺し事故は、インシデントではなく、アクシデント（医療事故）である。

【問題 34】 抗原抗体反応を利用する検査項目はどれか。2つ選べ。

- a 尿素窒素（BUN）
- b リウマトイド因子（RF）
- c C反応性タンパク（CRP）
- d コリンエステラーゼ（ChE）

答え b c

- ×a、×d 尿素窒素（BUN）やコリンエステラーゼ（ChE）は抗原抗体反応を利用した検査項目ではない。
- b リウマトイド因子（RF）は自己抗体であり、対応する抗原を用いた抗原抗体反応を利用する検査項目である。
- c C反応性タンパク（CRP）は抗CRP抗体を用いた抗原抗体反応を利用する検査項目である。

【問題 35】 顎口腔機能検査法と用いる器材の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 咬合圧検査 —— フェイスボウ
- b 下顎運動検査 —— パントグラフ
- c 構音機能検査 —— チェックバイト
- d 咀嚼機能検査 —— マイオモニター

答え b

- ×a フェイスボウは顎関節に対する上顎の位置を記録して咬合器に移す際に用いるものであり、咬合圧検査に用いるものではない。
- b パントグラフは下顎運動検査に用いるものである。
- ×c チェックバイトは顎路の測定に用いるものであり、構音機能検査に用いるものではない。
- ×d マイオモニターは下顎位の検査に用いるものであり、咀嚼機能検査に用いるものではない。

【問題 36】 睡眠時無呼吸症候群患者の睡眠中に低下するのはどれか。1つ選べ。

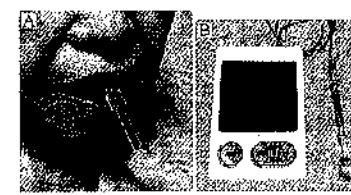
- a 血圧
- b 脈拍数
- c 無呼吸低呼吸指数
- d 経皮的動脈血酸素飽和度

答え d

- ×a、×b、×c、○d 睡眠時無呼吸症候群患者は、睡眠中に経皮的動脈血酸素飽和度が低下する。血圧や脈拍数、無呼吸低呼吸指数は上昇する。

【問題 37】 83歳の女性。飲み込みづらくなってきたことを主訴として来院した。口腔機能検査時の写真（別冊午後No.4A）と検査に使用する器具の写真（別冊午後No.4B）を別に示す。この検査で評価できるのはどれか。1つ選べ。

- a 舌の可動域
- b 舌の巧緻性
- c 舌の運動速度
- d 舌の力の強さ



答え d

- ×a、×b、×c、○d 写真をみると、舌圧検査装置を用いて舌圧検査していることがわかる。つまり、この検査で評価できるのは舌の力の強さである。

【問題 38】 65歳の女性。上顎右側犬歯の違和感を主訴として来院した。3か月前から咬合痛があり、他院で治療をしたが改善しなかったため、外科的歯内療法が行われることになった。レットロチップを用いて根尖部の窩洞形成を行っている時のマイクロスコop写真（別冊午後No.5）を別に示す。次の操作に使用する材料はどれか。1つ選べ。

- a 水硬性仮封材
- b 水酸化カルシウム製剤
- c ガッタパーチャポイント
- d 強化型酸化亜鉛ユージノールセメント（EBAセメント）



答え d

- ×a、×b、×c、○d レットロチップで根尖部の窩洞形成を行っており、次に逆根管充填を行うと判断できる。逆根管充填に使用する材料は強化型酸化亜鉛ユージノールセメント（EBAセメント）やMTAセメントであり、dが正しい。

【問題 39】 66歳の男性。下顎前歯部の歯肉の腫脹を主訴として来院した。現在、糖尿病と高血圧症に対する治療薬を服用している。歯肉の腫脹は服用を始めてから顕著になったという。初診時の口腔内写真（別冊午後No.6）を別に示す。初診時の対応で考えられるのはどれか。2つ選べ。

- a 歯肉の切除
- b 服用薬の中止
- c 内科主治医への対診
- d プラークコントロール



答え c d

- ×a 歯肉の切除は歯周基本治療後に検討する。
- ×b、○c 薬物性歯肉増殖が疑われるため、内科主治医への対診を行うのがよい。内科主治医により投与されている服用薬の中止を歯科で行うとは考えられない。
- d 薬物性歯肉増殖はプラークによる炎症が関与しており、初診時にプラークコントロールを行うことは重要である。

【問題 40】 28歳の男性。上顎左側第一小臼歯の軽度の冷水痛を主訴として来院した。う蝕症第2度と診断され、コンポジットレジン修復が行われることになった。処置中の口腔内写真（別冊午後No.7）を別に示す。

矢印で示す器具を使用する目的はどれか。1つ選べ。

- a 術野の明示
- b 唾液の排除
- c マトリックスの保持
- d 窩洞形成時の歯肉損傷防止



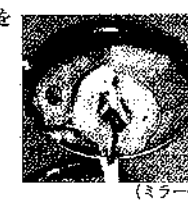
答え c

- ×a、×b、○c、×d 写真をみると、矢印で示す器具はリング状リテーナーであることがわかる。コンポジットレジン修復時のリング状リテーナーの使用目的はマトリックスの保持である。

【問題 41】 43歳の男性。上顎右側第一大臼歯の疼痛を主訴として来院した。患歯に麻酔抜髄を行った。処置中のある操作時のマイクロスコop写真（別冊午後No.8）を別に示す。

この操作の目的はどれか。1つ選べ。

- a 根管拡大
- b 根管乾燥
- c 歯髄除去
- d 根管長測定



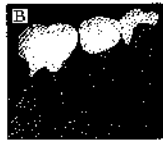
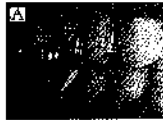
答え b

- ×a、○b、×c、×d 写真をみると、根管内にペーパーポイントが挿入されていることがわかる。したがって、この操作の目的はペーパーポイントによる根管乾燥であると判断できる。

【問題 42】 58歳の男性。下顎右側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。検査の結果、慢性歯周炎と診断された。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 9A）、エックス線画像（別冊午後 No. 9B）および歯周組織検査結果の一部（別冊午後 No. 10）を別に示す。

下顎右側第一大臼歯に行うのはどれか。1つ選べ。

- a ヘミセクション
- b ルートセパレーション
- c ルートアンブレーション
- d ファークーションプラスティ



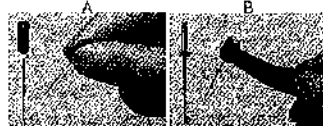
歯種	PPD(mm)	3	⑦	⑧
歯種			40	
頰側	PPD(mm)	3	④	3
根分岐部 (Lindhe & Nyman の分類)			3	

○印：ブローピング時の出血

【問題 43】 根管形成に使用する2種類の器具の写真（別冊午後 No. 11A、B）を別に示す。

Aと比較したBの特徴はどれか。2つ選べ。

- a 切削効率が低い。
- b 超弾性を有する。
- c ISO規格に準じる。
- d 形状記憶性がある。



【問題 44】 57歳の女性。上顎左側側切歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 12）を別に示す。

考えられる処置はどれか。2つ選べ。

- a ラミネートベニア修復
- b コンポジットレジン修復
- c オールセラミッククラウン装着
- d グラスアイオノマーセメント修復



【問題 45】 部分床義歯製作において咬合採得に必要な装置の写真（別冊午後 No. 13）を別に示す。

矢印で示す部位の役割はどれか。2つ選べ。

- a 動揺歯の固定
- b 連結子の補強
- c 義歯の沈下防止
- d 咬合接触の回復



【問題 46】 45歳の女性。咀嚼困難を主訴として来院した。診査の結果、下顎右側第一大臼歯欠損に対してインプラント治療が行われた。あるインプラント補綴処置時の口腔内写真（別冊午後 No. 14）を別に示す。

矢印で示す装置の目的はどれか。

1つ選べ。

- a 印象精度の向上
- b 周囲歯肉の保護
- c 埋入方向の確認
- d アパットメントの試適



答え a

○a エックス線画像および歯周組織検査結果の表から、⑦ 近心根の保存が困難であると考えられる。したがって、ヘミセクション（歯根分割法）の適応と考えられる。

×b ルートセパレーション（歯根分離法）は歯根の保存が可能な下顎第一大臼歯に適用する。

×c ルートアンブレーション（歯根切除法）は1根のみ歯根の保存が困難な上顎第一大臼歯に適用する。

×d ファークーションプラスティ（根分岐部形態修正）はエナメル突起の除去などを行うもので、軽度（1度）の根分岐部病変に適用する。

答え b d

×a、○b、×c、○d 写真からAはステンレススチール製手用ファイル、Bはニッケルチタン製ロータリーファイルであると考えられる。Bのニッケルチタン製ロータリーファイルは超弾性を有し、形状記憶性がある。また、ISO規格に準じておらず、手用ファイルより切削効率が低い。

答え b d

×a、○b、×c、○d ②の一過性冷水痛を訴えているが、写真を見ると歯頸部に着色（う蝕か？）を伴うくさび状欠損がみられる。窩洞の大きさや位置からコンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復が考えられる。ラミネートベニア修復やオールセラミッククラウン装着は歯質削除量が多く適切とはいえない。

答え c d

×a 矢印で示す部位はレストである。動揺歯を固定する役割はない。

×b レストには連結子を補強する役割はない。

○c、○d レストの役割は、義歯の沈下防止、咬合接触の回復、食片圧入の防止、支台歯への咬合圧伝達などである。

答え a

○a 矢印の装置とは印象用コーピングである。印象採得後、印象用コーピングと技工用のインプラントアナログを連結して石膏を注入して作業用模型を製作すると、印象精度が向上する。

×b 周囲歯肉の保護、治療促進のためには、ヒーリングアパットメントを装着する。

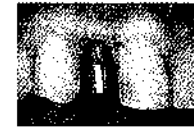
×c 埋入方向の確認のためには、方向指示棒を使用する。

×d 矢印の装置は印象用コーピングなので、アパットメントを試適しているわけではない。

【問題 47】 39歳の女性。前歯の審美不良を主訴として来院した。上顎右側中切歯に前装冠を製作することになった。支台築造後の口腔内写真（別冊午後 No. 15）を別に示す。

この支台築造体の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 口腔内で製作する。
- b 歯軸の調整ができる。
- c セメントで合着する。
- d シランカップリング処理を行う。



答え b c

×a 写真の支台築造体はメタルコアである。メタルコアは作業用模型上で製作する。

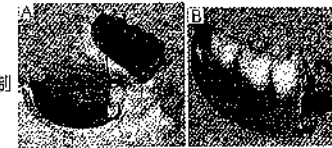
○b 作業用模型上でのワックスアップで歯軸の調整ができる。

○c メタルコアは合着用セメントで合着する。

×d シランカップリング処理はレジンコアを接着性レジンセメントで接着する際に行う。

【問題 48】 部分床義歯の写真（別冊午後 No. 16A、B）を別に示す。矢印で示す部位の役割はどれか。2つ選べ。

- a 咬合圧の分散
- b 不潔域の減少
- c 義歯の離脱防止
- d 義歯着脱方向の規制



答え b d

×a 矢印で示す部位は隣接面板である。支台歯に形成された誘導面（ガイドプレーン）に適合する金属部分である。咬合圧の分散といった役割はない。

○b、△c、○d 隣接面板の役割には、義歯着脱方向の規制、義歯の横揺れ防止（把持機構）、歯肉縁近くの不潔域の減少、食片圧入の防止、義歯維持力の向上（義歯の離脱防止）などがある。

次の文を読み、【問題 49】、【問題 50】に答えよ。

31歳の女性。上顎左側側切歯の腫瘍を主訴として来院した。

2か月前に自覚し、その後少しずつ増大してきたという。自発痛や圧痛は認められない。現在妊娠5か月であるという。初診時の口腔内写真（別冊午後 No. 17）を別に示す。



【問題 49】 上顎左側側切歯および第一小臼歯の①歯間乳頭部に②びまん性の腫瘍形成と③歯間離開が認められる。表面粘膜はほぼ正常色であるが、一部に不整形の④紫斑および粗糙感がみられる。

下線部分で正しいのはどれか。2つ選べ。

- a ① b ② c ③ d ④

答え a c

○a、×b、○c、×d 写真の歯肉の腫瘍は妊娠性エプーリスと考えられる。妊娠性エプーリスは歯間乳頭部歯肉に限局性の腫瘍形成を示す。エプーリスが増大すると写真のように歯間離開をまねく。表面粘膜はほぼ正常色で、紫斑がみられることはない。

【問題 50】 この疾患の特徴はどれか。2つ選べ。

- a 細菌感染により生じる。
- b 内部に骨組織がみられる。
- c 分娩後消失することがある。
- d エストロゲンの分泌増加が誘因となる。

答え c d

×a 妊娠性エプーリスは細菌感染が原因ではない。

×b 妊娠性エプーリスは歯肉に限局して生じる。

○c、○d 妊娠性エプーリスは、エストロゲンやプロゲステロンの分泌増加が誘因となり生じる。分娩後消失することが多い。

【問題 51】 14歳の男子。野球の練習中にボールが顔面に当たり、上顎左側中切歯が完全脱落したという。受傷直後にその歯を持ってこれから受診したいとの電話相談を受けた。

脱落した歯の取扱いで正しいのはどれか。1つ選べ。

- a 水道水でよく洗ってください。
- b よく乾燥させて来院してください。
- c 冷たい牛乳に浸して来院してください。
- d 清潔なガーゼでよく拭いて来院してください。

答え c

×a よく洗うと歯面から歯根膜が剥がれてしまう。

×b 乾燥させると歯根膜が損傷する可能性が高い。

○c 冷たい牛乳や生理食塩水に浸して来院してもらう。

×d ガーゼでよく拭いてしまうと歯面から歯根膜が剥がれてしまう。

【問題 52】 側貌の模式図を示す。

コンベックスタイプに分類されるのはどれか。1つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え a

○a ①はコンベックスタイプに分類される。

×b ②はストレートタイプに分類される。

×c、×d ③や④はコンケイブタイプに分類される。

【問題 53】 アングルⅡ級1類の不正咬合にみられる特徴はどれか。2つ選べ。
 a 口呼吸
 b 下顎近心咬合
 c 上顎切歯の唇側傾斜
 d 負のオーバージェット

答え a c
 ○a、○c アングルⅡ級1類の不正咬合では口呼吸や上顎切歯の唇側傾斜がみられる。
 ×b アングルⅡ級1類の不正咬合は下顎遠心咬合である。
 ×d アングルⅡ級1類の不正咬合では、オーバージェットは正である。

【問題 54】 上下顎切歯の被蓋状態の模式図を示す。舌突出癖によって生じるのはどれか。1つ選べ。
 a ①
 b ②
 c ③
 d ④

答え d
 ×a、×b、×c、○d 舌突出癖がある患者では、上下顎前突や開口が生じやすい。したがって、④が正しい。

【問題 55】 ある矯正装置装着時の側貌写真(別冊午後No.18)を別に示す。期待できる効果はどれか。1つ選べ。
 a 上顎前歯の舌側移動
 b 上顎大臼歯の遠心移動
 c 上顎骨の前方成長促進
 d 上顎歯槽基底部の側方拡大

答え c
 ×a、×b、○c、×d 写真をみると、使用しているのは上顎前方牽引装置であることがわかる。したがって、期待できる効果は上顎骨の前方成長促進である。

【問題 56】 成熟永久歯と比較して幼若永久歯で低いのはどれか。2つ選べ。
 a 咬耗の程度
 b う蝕の感受性
 c 修復象牙質の形成能
 d エナメル質表面の石灰化度

答え a d
 ○a、×b、○d 成熟永久歯と比較して、幼若永久歯では咬耗の程度やエナメル質表面の石灰化度が低い。そのため、う蝕の感受性が高い。
 ×c 幼若永久歯では修復象牙質の形成能が高い。

【問題 57】 3歳の女児。歯頸部の白濁を主訴として保護者と来院した。口腔内診査でう蝕は認められなかった。初診時の口腔内写真(別冊午後No.19)を別に示す。ブラッシング指導の後に行うのはどれか。1つ選べ。
 a フッ化物歯面塗布
 b コンポジットレジン修復
 c フッ化ジアンミン銀塗布
 d グラスアイオノマーセメント修復

答え a
 ○a う高はみられないが、白濁がみられるため、再石灰化を期待するためフッ化物歯面塗布を行うのがよい。
 ×b、×d う高はみられず、コンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復を行うのは適切とはいえない。
 ×c フッ化ジアンミン銀塗布は乳歯う蝕に対してう蝕進行抑制を目的として行う。

【問題 58】 構音障害を改善するために製作した補綴装置の写真(別冊午後No.20)を別に示す。改善される発音はどれか。2つ選べ。
 a イ
 b シ
 c タ
 d パ

答え c d
 ×a、×b、○c、○d 写真の構音障害を改善するために製作した補綴装置とは軟口蓋挙上装置で、鼻咽腔閉鎖機能不全を改善するための装置である。鼻咽腔閉鎖機能不全があると、発音時に呼気が鼻腔に漏れる閉鼻声となる。「タ」行は「ナ」行、「タ」行は「ナ」行、「バ」行は「マ」行、「バ」行は「マ」行に近い音に聞こえる。したがって、軟口蓋挙上装置で改善する発音は「タ」、「バ」、「ダ」、「バ」などである。

【問題 59】 サルコペニアの評価項目はどれか。2つ選べ。
 a 筋力
 b 筋肉量
 c 筋萎縮度
 d 骨格筋と平滑筋の比

答え a b
 ○a、○b サルコペニアとは、筋力が減少し、身体機能が低下した状態を指す。サルコペニアの評価項目は、筋力測定(握力;男性26kg未満、女性18kg未満)、身体機能の測定(6m歩行速度;1m/秒未満、5回椅子立ち上がりテスト;12秒以上)、筋肉量の測定(生体インピーダンス法;男性7.0未満、女性5.7未満)である。
 ×c 筋萎縮度はサルコペニアの評価項目ではない。
 ×d 骨格筋と平滑筋の比はサルコペニアの評価項目ではない。

【問題 60】 経管栄養に用いる器具が身体に装着されている写真(別冊午後No.21)を別に示す。この器具を用いるのはどれか。1つ選べ。
 a 胃瘻
 b 経鼻経管栄養
 c 中心静脈栄養
 d 間欠的経管栄養

答え a
 ○a、×b、×c、×d 写真の身体に装着されている経管栄養に用いる器具とは、胃瘻カテーテルである。

【問題 61】 8歳の女児。口腔内の精査依頼で児童相談所の相談員と来院した。肢体不自由があり、母親からネグレクトされていて身体発達の重度の遅れが認められる。初診時の口腔内写真(別冊午後No.22)を別に示す。観察できるのはどれか。1つ選べ。
 a 歯の破折
 b 多数歯う蝕
 c 口腔粘膜外傷
 d 多量の歯石沈着

答え d
 ×a 口腔内写真では歯の破折は認められない。
 ×b、○d 多量の歯石沈着や歯肉炎は認められるが、多数歯う蝕は認められない。
 ×c 口腔内写真では口腔粘膜外傷は認められない。

【問題 62】 6歳の男児。う蝕予防処置を希望して保護者と来院した。自閉スペクトラム症の既往があるという。視覚支援を行いながら予防処置を行った。診療時に用いた視覚支援シート(別冊午後No.23)と処置中の写真(別冊午後No.24)を別に示す。使用したシートにより構造化が図られるのはどれか。2つ選べ。
 a 意思
 b 空間
 c 時間
 d 順序

答え c d
 ×a 診療時の写真はTEACCH法を行っているところである。自閉スペクトラム症患者のための包括的な援助システムである。視覚支援はこのシステムの主体であり、場所、空間、順序などを構造化することが重要である。意思は含まれていない。
 ×b 空間の構造化(物理的構造化)とは、場所と作業内容を1:1で対応させることである。いつもの場所(診療台)で治療すること、刺激の少ない環境にすることなどが空間の構造化である。
 ○c 時間の構造化(スケジュールの構造化)とは、スケジュール表を明示することである。使用したシートに記載されている「せんせい こんにちわ」、「せんせい さようなら」は、作業の「始めと終わり」を明確にしているため、時間の構造化を行っている。
 ○d 順序の構造化(ワークシステム)とは、手順表を明示することである。使用したシートに手順が記載されているため、順序の構造化を行っている。

【問題 63】 58歳の女性。上顎右側第一大臼歯の違和感を主訴として来院した。初診時の歯周組織検査結果の一部を表に示す。

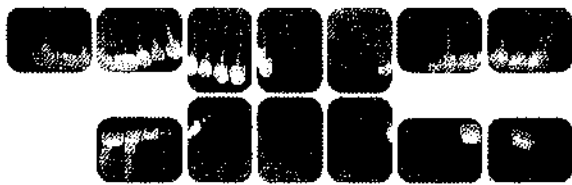
動揺度(Millerの分類)		1		
頰側	アタッチメントレベル(mm)	7	4	4
	PPD(mm)	⑤	③	3
舌側		16		
口蓋側	PPD(mm)	⑥	⑤	3
	アタッチメントレベル(mm)	8	7	5

答え b c
 ×a 歯肉に局限した炎症があるのは歯肉炎である。歯周組織検査結果の表をみるとアタッチメントロスがみられるため、歯周炎であると考えられる。
 ○b 動揺度(Millerの分類)が1度であるため、頬舌方向のみに動揺がみられると考えられる。
 ○c 歯肉退縮幅はアタッチメントレベルからPPDを減じることで求められる。表をみると、歯肉退縮幅は1~2mmであると考えられる。
 ×d PPDをみると、最も深い歯周ポケット深さは6mmである。

○印:ブローピング時の出血
 正しいのはどれか。2つ選べ。
 a 歯肉に局限した炎症がある。
 b 頬舌方向のみに動揺がみられる。
 c 歯肉退縮幅は1~2mmである。
 d 最も深い歯周ポケット深さは8mmである。

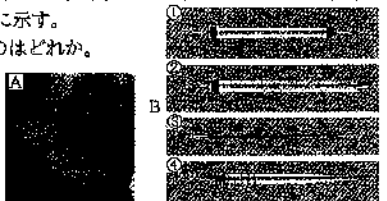
【問題 64】 67歳の男性。メンテナンスのため来院した。歯科医師から根面う蝕予防を目的としたフッ化物歯面塗布を指示された。来院時のエックス線画像（別冊午後 No. 25）を別に示す。使用するのはいずれか。1つ選べ。

a フッ化第一スズ溶液
b フッ化ナトリウム溶液
c モノフルオロリン酸ナトリウム
d リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液



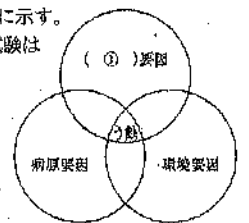
【問題 65】 66歳の女性。上顎右側第一大臼歯の歯肉の腫脹を主訴として来院した。歯科医師から患歯の検査を行うよう指示を受けた。エックス線画像（別冊午後 No. 26A）と器具の写真（別冊午後 No. 26B）を別に示す。検査に使用するのはいずれか。2つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



【問題 66】 Keyes の3つの輪を図に示す。①の要因を評価するう蝕活動性試験はどれか。2つ選べ。

a Hadley テスト
b Snyder テスト
c Dreizen テスト
d グルコースクリアランステスト

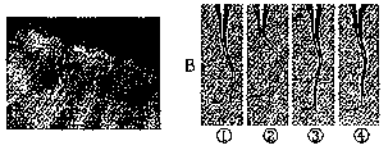


【問題 67】 妊娠関連歯肉炎で増加する細菌はどれか。1つ選べ。

a *Prevotella intermedia*
b *Fusobacterium nucleatum*
c *Porphyromonas gingivalis*
d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans*

【問題 68】 46歳の男性。下顎右側臼歯部歯肉からの出血を主訴として来院した。歯周組織検査後、スクレーピング・ルートプレーニングを行うよう歯科医師から指示を受けた。エックス線画像（別冊午後 No. 27A）とグレーシータイプキュレットの写真（別冊午後 No. 27B）を別に示す。矢印で示した歯石を除去するのに適しているのはどれか。1つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



【問題 64】 答え b
× a、○ b、× d エックス線画像をみると、下顎右側第一大臼歯部にインプラントが埋入されている。したがって、フッ化物歯面塗布にはフッ化第一スズ溶液やリン酸酸性フッ化ナトリウム溶液ではなく、中性のフッ化ナトリウム溶液を用いるのがよい。
× c モノフルオロリン酸ナトリウムはフッ化物配合歯磨剤に配合されるフッ化物である。

【問題 65】 答え a b
○ a、○ b ①はファーケーションプローブ、②は歯周プローブである。⑥の歯肉腫脹を訴えている患者の検査を指示されており、エックス線画像で歯周炎が疑われるため、①や②を使用すると考えられる。
× c ③はエキスカベーターである。
× d ④はスプレッターである。

【問題 66】 答え c d
× a、× b Hadley テストや Snyder テストは病原要因（微生物因子）を評価するう蝕活動性試験である。
○ c、○ d ①の要因は宿主要因である。Dreizen テストやグルコースクリアランステストは宿主因子を評価するう蝕活動性試験である。

【問題 67】 答え a
○ a *Prevotella intermedia* は妊娠関連歯肉炎で増加する細菌である。
× b *Fusobacterium nucleatum* はプラーク細菌の共凝集に関与していると考えられている。
× c *Porphyromonas gingivalis* は慢性歯周炎で増加する細菌である。
× d *Aggregatibacter actinomycetemcomitans* は限局型侵襲性歯周炎に関連する細菌とされている。

【問題 68】 答え c
× a ①は #7/8 である。
× b ②は #9/10 である。
○ c ③は #11/12 である。矢印で示した歯石は臼歯部近心に付着しているため、その除去には③を用いるのがよい。
× d ④は #13/14 である。

【問題 69】 歯周組織に対する喫煙の影響はどれか。1つ選べ。

a 血管の拡張
b 歯周病原細菌の減少
c 好中球の走化性の低下
d コラーゲン産生の促進

【問題 70】 インディアストーンと比較したセラミックストーンの特徴はどれか。2つ選べ。

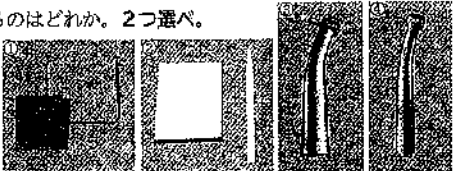
a 天然石である。
b 粒子が細かい。
c 潤滑剤は不要である。
d 器具の形態修正に用いる。

【問題 71】 糖尿病患者において歯周治療により改善が期待されるのはどれか。1つ選べ。

a HbA1c (%)
b 血小板数
c ヘマトクリット値
d LDL コレステロール値

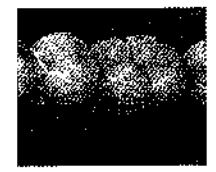
【問題 72】 6歳の男児。定期歯科健康診査のため、保護者と来院した。歯科医師から半萌出している下顎右側第一大臼歯に小窩裂溝充填を行うよう指示を受けた。器材の写真（別冊午後 No. 28）を別に示す。使用するのはいずれか。2つ選べ。

a ①
b ②
c ③
d ④



【問題 73】 30歳の女性。ブラッシング時の歯肉からの出血を主訴として来院した。口腔内写真（別冊午後 No. 29）を別に示す。認められるのはどれか。2つ選べ。

a 歯間空隙
b 歯石の沈着
c 歯肉の腫脹
d フェストゥーン



【問題 74】 体重 30kg の男児が週一回法のフッ化物洗口液 10mL を誤飲した。誤飲したフッ化物イオン量はどれか。1つ選べ。

a 0.6mg
b 0.9mg
c 6.0mg
d 9.0mg

【問題 75】 24歳の女性。ブラッシング時の歯肉からの出血を主訴として来院した。初診時の歯垢染色後の口腔内写真（別冊午後 No. 30）を別に示す。染色後の歯垢の色の違いに影響するのはどれか。1つ選べ。

a 歯垢の pH
b 歯垢の粘着性
c 歯垢の付着時間
d 歯垢中の白血球数



【問題 69】 答え c
× a 歯周組織に対する喫煙の影響として、毛細血管の収縮が生じる。
× b 歯周組織に対する喫煙の影響として、歯周病原細菌の増殖促進が生じる。
○ c 歯周組織に対する喫煙の影響として、好中球の走化性の低下が生じる。
× d 歯周組織に対する喫煙の影響として、コラーゲン産生能の低下が生じる。

【問題 70】 答え b c
× a セラミックストーンは人工石である。
○ b セラミックストーンは粒子が細かいため、仕上げ用に用いられる。
○ c セラミックストーンでは、潤滑剤は不要である。
× d 器具の形態修正にはインディアストーンを用いるのがよい。

【問題 71】 答え a
○ a、× b、× c、× d 糖尿病と歯周病は相互に影響を及ぼしており、糖尿病患者において歯周治療を行うと血糖値が改善する可能性があるため、HbA1c (%) の改善が期待される。血小板数やヘマトクリット値、LDL コレステロール値の改善が期待されるとは考えにくい。

【問題 72】 答え b c
× a ①はラバーダム防湿用器材である。半萌出歯ではラバーダム防湿法は使用できない。
○ b ②は紙練板とプラスチック製スパチュラである。半萌出している下顎右側第一大臼歯への小窩裂溝充填にはセメント系充填材を用いるため、液と粉を練和するために②を用いる。
○ c ③はコントラアングルハンドピースとポリッシングブラシである。小窩裂溝充填を行うには歯面清掃を行う必要があるため、③を用いる。
× d ④はエアタービンハンドピースとダイヤモンドポイントである。小窩裂溝充填では歯質の切削は行わないため使用しない。

【問題 73】 答え b c
× a 写真では歯間空隙が存在するようにはみえない。
○ b 写真から黒色の線下歯石の沈着が認められる。
○ c 写真から乳頭歯肉の腫脹が認められる。
× d 写真ではフェストゥーンが存在するようにはみえない。

【問題 74】 答え d
× a、× b、× c、○ d 週一回法のフッ化物洗口液には、フッ化物イオン濃度 900ppm の 0.2% フッ化ナトリウム溶液が用いられる。0.2% フッ化ナトリウム溶液 1mL 中には 0.9mg のフッ化物イオンが含まれているので、10mL 誤飲した場合のフッ化物イオン量は 0.9mg × 10 = 9.0mg である。

【問題 75】 答え c
× a、× b、○ c、× d 写真をみると、歯垢が2色に染め分けられているため、2色系の歯垢染色液を使用していると判断できる。2色に染め分けられるものは、新しいプラークと古いプラークを分けるものであるため、色の違いに影響するのは歯垢の付着時間である。

【問題 89】 離乳中期にみられる食物摂取の特徴はどれか。1つ選べ。

a 歯を使う。
b 歯ぐきでつぶす。
c 舌と上あごでつぶす。
d 口を閉じて取り込みができる。

答え c

- × a 歯を使うのは離乳完了期である。
- × b 歯ぐきでつぶすのは離乳後期である。
- c 舌と上あごでつぶすのは離乳中期である。
- × d 口を閉じて取り込みができるのは離乳初期である。

【問題 90】 妊婦の食事摂取基準で耐容上限量が定められているのはどれか。2つ選べ。

a 亜鉛
b カルシウム
c ナトリウム
d マグネシウム

答え ab

- a、○ b、× c、× d 妊婦の食事摂取基準で耐容上限量が定められているのは亜鉛とカルシウムである。ナトリウムとマグネシウムは定められていない。

【問題 91】 16歳の女子。上顎前突を主訴として来院した。頭部エックス線規格写真(別冊午後 No. 34)を別に示す。撮影時の留意点で適切なものはどれか。2つ選べ。

a SN平面を床面と平行にする。
b 頭部固定にはイヤードットを用いる。
c 被写体と写真が等倍になるよう撮影する。
d 頭部の正中矢状平面とフィルムを平行に保つ。

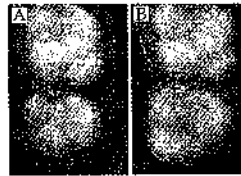


答え bd

- × a 頭部エックス線規格写真撮影時はFH平面を床面と平行にする。
- b 頭部固定にはイヤードットを用いる。
- × c 得られる写真は被写体の1.1倍になるよう撮影する。
- d 頭部の正中矢状平面とフィルムを平行に保つ。

【問題 92】 23歳の女性。上顎右側第二大臼歯の修復物脱離を主訴として来院した。検査の結果、間接修復が行われることになった。窩洞形成後と修復物試着後の口腔内写真(別冊午後 No. 35A、B)を別に示す。デュアルキュア型接着性レジンセメントによる装着で正しいのはどれか。2つ選べ。

a 修復物にシランカップリング処理を行う。
b 窩洞内にセメントを塗布する。
c タックキュア後、余剰セメントを除去する。
d 光照射後、直ちに研磨する。



答え ac

- a 修復物(セラミック、ハイブリットセラミック、レジンなど)を接着性レジンセメントを用いて装着する際には、修復物内面にシランカップリング処理を行う。
- × b 窩洞内ではなく、修復物内面にセメントを塗布する。
- c タックキュアとはセメントを半硬化させるための光照射のことである。半硬化後、余剰セメントを除去する。
- × d デュアルキュア型は光重合と化学重合で硬化するので、光照射後、化学重合が完了するまで待機する必要がある。

【問題 93】 56歳の男性。SPTのため来院した。治療を開始すると、冷汗、頻脈、手指の震えなどがみられるようになった。糖尿病の既往があり、今朝インスリン製剤を自己注射したが、多忙で昼食はとっていないという。適切な対応はどれか。1つ選べ。

a 下肢を挙上する。
b 自己注射を促す。
c 笑気を吸入させる。
d 加糖飲料を飲んでもらう。

答え d

- × a 糖尿病のためインスリン製剤を自己注射しているが、昼食を摂取せずに歯科治療を受けて、冷汗、頻脈、手指の震えなどがみられるため、低血糖症が疑われる。下肢の挙上は、血管迷走神経反射(神経性ショック)への対応である。
- × b 今朝インスリン製剤を自己注射しているため、自己注射を促す必要はない。
- × c 笑気吸入は歯科治療恐怖症である患者などの治療前に行うものである。
- d 昼食を摂取しておらず、低血糖症が疑われるため、加糖飲料を飲んでもらう。

【問題 94】 普通石膏の取扱いで適切なものはどれか。2つ選べ。

a 石膏をよくほぐした状態で計量する。
b 練和時間は30～60秒を目安とする。
c 印象体には一度に多量の石膏泥を注入する。
d 石膏泥は強く押し付けながら盛り上げる。

答え ab

- a 石膏粉末をよくほぐした状態で計量する。
- b 練和時間は30～60秒を目安とする。
- × c 印象体には石膏泥を少量取り、1か所から注入し、印象体内に少しずつ移動させる。
- × d スパチュラで取った石膏泥を印象体に注入し、印象用トレーの柄をパイプレーターに当てながら盛り上げる。

【問題 95】 口腔扁平上皮癌に対する放射線治療が終了し、治療後6か月以上経過した際に起こりうる口腔内の有害事象はどれか。2つ選べ。

a 咽頭痛
b 顎骨壊死
c 口腔粘膜炎
d 多発性う蝕

答え bd

- × a、× c 放射線治療後2～3か月以内に起こりうる口腔内の有害事象(早期障害)には、咽頭痛、嚥下痛、口腔粘膜炎、口腔乾燥、味覚障害などがある。
- b、○ d 放射線治療後6か月～1年以上経過した際に起こりうる口腔内の有害事象(晩発障害)には、顎骨壊死(放射線骨髄炎)、多発性う蝕、重度歯周炎、口腔乾燥、味覚障害、粘膜潰瘍などがある。

【問題 96】 17歳の男子。下顎右側犬歯と第一小臼歯間に食片がはさまることを主訴として来院した。第一小臼歯に透気による疼痛を認められた。検査の結果、第一小臼歯のう蝕と診断され、う蝕処置が行われることになった。う蝕検知液で染色後の口腔内写真(別冊午後 No. 36)を別に示す。矢印で示す部分を残留する処置を行う際に準備するのはどれか。1つ選べ。



答え d

- × a EDTAは根管清掃剤の1つで、無機質溶解作用がある。根管治療の際に用いる。
- × b 過酸化尿素は生活歯の漂白に用いる薬剤である。
- × c 過ホウ酸ナトリウムは失活歯の漂白(ウォーキングブリーチ法)に用いる薬剤である。
- d 矢印で示す部分はう蝕検知液で染色されているので軟化象牙質と考えられる。再石灰化が可能な軟化象牙質を残留する処置とは、暫間的間接覆髄法(IPC法)のことである。水酸化カルシウム製剤またはタンニン・フッ化物配合ポリカルボキシレートセメントを矢印の部分に貼付することによって第三象牙質の形成を促進する。

- a EDTA
- b 過酸化尿素
- c 過ホウ酸ナトリウム
- d タンニン・フッ化物配合ポリカルボキシレートセメント

【問題 97】 8歳の女児。矯正歯科治療を希望して保護者と来院した。印象採得を行うことになったが、印象採得の経験はないという。女児は緊張している様子である。適切な対応はどれか。2つ選べ。

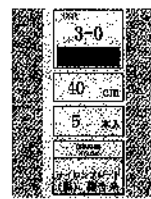
答え bd

- × a 印象採得の経験がなく、緊張しているため、印象採得時の嘔吐反射への対策が必要である。印象材が咽頭部へ流れないように頭は前方へ傾ける。
- b 印象採得は水平位よりも座位で行うほうが嘔吐反射を防止できる。
- × c 嘔吐反射の少ない下顎から印象採得を行う。
- d 嘔吐物を受けるガーグルペーンを予め準備しておく。

- a 頭は後方へ傾ける。
- b 印象採得は座位で行う。
- c 上顎から印象採得を行う。
- d ガーグルペーンを用意する。

【問題 98】 縫合糸のパッケージの写真(別冊午後 No. 37)を別に示す。この特徴はどれか。1つ選べ。

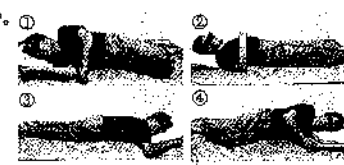
a 粗織である。
b 生体への吸収性がある。
c 繊維間に細菌が侵入しやすい。
d 抜糸時に見えるよう着色されている。



答え d

- × a ナイロン糸は滑らかな表面である。
- × b ナイロン糸は非吸収性の糸である。
- × c 繊維間に細菌が侵入しやすいのは絹糸である。
- d 抜糸時に見えるよう黒色に着色されている。

【問題 99】 71歳の男性。嚥下障害がある。座位で食事中に誤嚥してしまったためドレナージを行うことになった。ドレナージの体位の写真(別冊午後 No. 38)を別に示す。効果的なのはどれか。



答え d

- × a、× b、× c、○ d 座位で誤嚥すると、解剖学的形態から右肺底部に誤嚥物が入ることが多い。そこで④のように右肺を上にした体位にすると、誤嚥物が重力によって中枢気道へ誘導排出することができる。

- 1つ選べ。
- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

【問題 100】 21歳の男性。上顎右側第一大臼歯の一過性の冷水痛を主訴として来院した。咬合面象牙質う蝕と診断され、コンポジットレジン修復が行われることになった。窩洞形成後とワンステップ接着システムを用いた接着処理時の口腔内写真(別冊午後 No. 39A、B)および使用した接着システムの写真(別冊午後 No. 39C)を別に示す。次に行うのはどれか。1つ選べ。



答え c

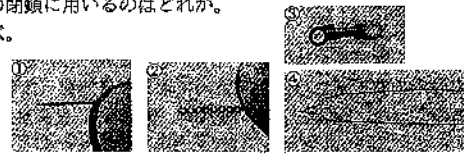
- × a ワンステップ接着システムを用いた接着処理の手順は、セルフエッチングプライマーボンディング処理→エアブロー(乾燥)→光照射である。水洗は不要である。
- × b、○ c 写真Bはセルフエッチングプライマーボンディング処理を行っているところなので、次に行うのはエアブローである。
- × d エッチングではなく、セルフエッチングプライマーボンディング処理を行う。

- 次に行うのはどれか。1つ選べ。
- a 水洗
- b 光照射
- c エアブロー
- d エッチング

【問題 101】 矯正歯科治療で用いる材料の写真（別冊午後 No. 40）を別に示す。

空隙の閉鎖に用いるのはどれか。2つ選べ。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④



答え b c

× a ①はオープンコイルスプリングである。スプリングが圧縮された状態で装着し、バネが伸びる力を利用して歯間空隙の拡大を行うために用いる。

○ b ②はエラストックチェーンである。ブラケット間に装着し、ポリウレタンの弾性力を利用して歯間空隙の閉鎖や歯の移動を行うために用いる。

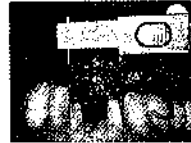
○ c ③はクローズドコイルスプリングである。スプリングが伸張された状態で装着し、バネが元に戻る力を利用して歯間空隙の閉鎖を行うために用いる。

× d ④はリガチャーワイヤー（結紮線）である。ブラケットにアーチワイヤーを固定する際に用いる。

【問題 102】 75歳の女性。下顎前歯部ブリッジ脱離を主訴として来院した。診断の結果、ブリッジを製作することになった。検査中の口腔内写真（別冊午後 No. 41）を別に示す。

行われているのはどれか。1つ選べ。

- a 平行測定
- b 歯髄電気診
- c 動揺度検査
- d 歯周ポケット測定



答え a

○ a 写真の器具は平行測定器である。行っている検査は、ブリッジの支台歯間の平行測定である。

× b 歯髄電気診は電気歯髄診断器を用いて行う。

× c 動揺度検査はピンセットを用いて行う。

× d 歯周ポケット測定はポケット探針を用いて行う。

【問題 103】 エックス線撮影に CCD を使用した場合とフィルムを使用した場合の共通事項はどれか。2つ選べ。

- a 廃液処理
- b フィルムマウント
- c 画像検出器の位置づけ
- d 撮影装置のメンテナンス

答え c d

× a フィルムを使用した場合には現像処理を行うので、廃液（使用済みの現像液や定着液）処理は必要であるが、CCD を使用した場合には廃液処理は不要である。

× b フィルムを使用した場合にはフィルムマウントを行うが、CCD を使用した場合にはフィルムマウントは行わない。

○ c 画像検出器の位置づけは、CCD を使用した場合とフィルムを使用した場合の共通事項である。

○ d 撮影装置のメンテナンスは、CCD を使用した場合とフィルムを使用した場合の共通事項である。

【問題 104】 妊娠 37 週の妊婦。定期産科健康診査を希望して来院した。検査の結果、スクリーニングを行うことになった。仰臥位性低血圧症候群の発現のリスクを低減するための姿勢の写真（別冊午後 No. 42）を別に示す。

この体位で圧迫を防ぐ器官はどれか。

- 1つ選べ。
- a 子宮
- b 腎臓
- c 大動脈
- d 下大静脈



答え d

× a、× b、× c、○ d 妊娠 8 か月以降（後期）になると仰臥位で悪心、冷汗、血圧低下、嘔吐、顔面蒼白、呼吸困難がみられることがあり、これを仰臥位性低血圧症候群という。増大した妊娠子宮が下大静脈を圧迫し、静脈還流血流量が減少するため生じるので、写真のように左側を下にした側臥位にすると回復する。

【問題 105】 既製冠を使用してプロビジョナルレストレーションを製作することになった。製作過程の模型の写真（別冊午後 No. 43）を別に示す。

この操作の前に行うのはどれか。2つ選べ。

- a 既製冠の試適
- b 既製冠の調整
- c 既製冠内面への分離材塗布
- d 支台歯へのレジン盛り付け



答え a b

○ a、○ b 既製冠を用いたプロビジョナルレストレーションの製作には、口腔内で製作する方法と研究用模型上で製作する方法がある。本問ではデモンストレーション用模型を使用している。実際の臨床ではなく、プロビジョナルレストレーションを製作する練習（実習）を行っていると考えられる。既製冠を用いたプロビジョナルレストレーションの製作手順は、既製冠の選択→既製冠の試適→既製冠の調整→支台歯への分離材塗布→既製冠内面へのレジン盛り付け→支台歯への既製冠の圧接（写真の操作）→余剰レジンの除去→既製冠の形態修正→接触点の調整→咬合調整→研磨→仮着となる。

写真は既製冠内面にレジンを盛り付け、模型の支台歯に既製冠を圧接しているところなので、この操作の前に行うのは、既製冠の試適と既製冠の調整である。

× c 既製冠内面ではなく、支台歯に分離材を塗布する。

× d 支台歯ではなく、既製冠内面にレジンを盛り付ける。

【問題 106】 口腔期障害のある摂食嚥下障害患者に対して行う直接訓練はどれか。1つ選べ。

- a 舌訓練
- b 嚥下の意識化
- c ガムラビング
- d ブローイング

答え b

× a 舌訓練は舌筋に刺激を与えることによって、舌の筋力増強と可動域の改善を図る。食物を使わないので間接訓練である。

○ b 嚥下の意識化は、捕食、咀嚼、嚥下を意識的に行うことで、スムーズな嚥下運動を促す。舌尖を切歯乳頭部後方（スポット）に押し当て、舌による食塊形成と咽頭への移送を意識させる。食物を利用した直接訓練の1つである。

× c ガムラビング（歯肉マッサージ）は嚥下促進訓練の1つで、歯肉マッサージにより唾液分泌を促し、口腔内の感覚機能を高めて嚥下運動を誘発する。食物を使わないので間接訓練である。

× d ブローイングは呼吸訓練の1つで、吸く動作に鼻咽腔が反射的に閉鎖されることを利用して、鼻咽腔閉鎖機能の改善を図る。食物を使わないので間接訓練である。

【問題 107】 加齢による握力低下で歯ブラシが握りにくくなった高齢者に対して、歯ブラシの柄を太くすることで、握りやすさが向上し歯磨きがしやすくなった。

この状態で改善したのはどれか。1つ選べ。

- a 機能の変調
- b 形態の不全
- c 活動の制限
- d 参加の制約

答え c

× a、× b ICF（国際生活機能分類）の「心身機能・身体構造（生命レベル）」には、手足の動きや精神の働き、視覚や聴覚、内臓の働きなどの身体系の生理的機能が該当する。

○ c ICF（国際生活機能分類）の「活動（生活レベル）」には、入浴、排泄、食事、歯磨き、移動などの生活行為、職業上の行為、社会生活上必要な行為も該当する。「歯磨き」がしやすくなったというので、活動の制限が改善したことになる。

× d ICF（国際生活機能分類）の「参加（人生レベル）」には、地域組織での役割、家庭内での役割、職場での役割など、社会参加が該当する。

【問題 108】 72歳の男性。食べこぼしが気になることを主訴として来院した。現在の歯数は27本である。口唇閉鎖機能不全が疑われ、評価を行うことになった。

実施するのはどれか。1つ選べ。

- a 嚥下造影検査
- b 咀嚼能率検査
- c 口腔湿潤度検査
- d オーラルディアドコキネシス

答え d

× a 嚥下造影検査とは、嚥下時の過程や状態を評価するための検査である。摂食嚥下障害、とくに嚥下の疑われる患者に行う。口腔、咽頭、食道の機能を評価できるが、口唇閉鎖機能を評価するわけではない。

× b 咀嚼能率検査には、咀嚼能率スコア法というものがあり、測定用グミゼリーを30回咀嚼後に粉碎度を視覚資料と比較するだけで咀嚼能力を簡単に迅速に評価できる。口唇閉鎖機能を評価するわけではない。

× c 口腔湿潤度検査では、口腔水分計を使用して、舌尖から約10mmの舌背中央部の湿潤度を計測し、口腔乾燥の有無を評価する。口唇閉鎖機能を評価するわけではない。

○ d オーラルディアドコキネシスでは、「パ」、「タ」、「カ」をそれぞれ10秒間発音してもらい、その回数を測定する。「パ」で口唇閉鎖運動、「タ」で舌尖運動、「カ」で舌後部部の挙上運動を評価できる。1秒間あたりの回数が6回未満の場合、舌、口唇、軟口蓋の巧緻性が低下していると判断する。

【問題 109】 離乳期と身体の発達段階の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 離乳初期——座位がとれる。
- b 離乳中期——手づかみ食べができる。
- c 離乳後期——コップを使用できる。
- d 離乳完了——箸を使用できる。

答え a c

○ a 離乳初期（5～6か月）では、舌背面が床と水平になるように上体を少し後傾させた座位にして、なめらかにすりつぶした状態の食形態にする。

× b 離乳中期（7～8か月）は押しつぶし機能獲得期である。平らなスプーンを下唇に乗せ、上唇が閉じるのを待つ。豆腐のような舌でつぶせる固さの食形態にする。この時期からコップで飲む練習を開始する。

○ c 離乳後期（9～11か月）はすりつぶし機能獲得期である。くぼみのあるスプーンを下唇に乗せ、上唇が閉じるのを待つ。バナナのような歯茎で押しつぶせる固さの食形態にする。この時期にはコップを使用できるようになる。

× d 離乳完了期（12～18か月）には手づかみ食べができる。舌の左右運動ができるようになり、咀嚼運動が完成する。歯茎で噛みつぶせる固さの食形態にする。箸を正しく使用できるようになるのは5～6歳頃である。

【問題 110】 栄養サポートチーム〈NST〉における各職種と業務の組合せで正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 管理栄養士 —— 残食の確認
- b 言語聴覚士 —— 嚥下内視鏡検査
- c 作業療法士 —— 経鼻経管栄養の交換
- d 歯科衛生士 —— 口腔健康管理

答え a d

- a 管理栄養士は栄養評価、残食の確認、食品衛生管理、食形態の調整を行う。
- × b 嚥下内視鏡検査は医師が行う。言語聴覚士は摂食嚥下訓練、構音訓練を行う。
- × c 経鼻経管栄養の交換は医師や看護師が行う。作業療法士は食器具の選定、利き手交換の訓練を行う。
- d 歯科衛生士は口腔健康管理、歯科保健指導などを行う。